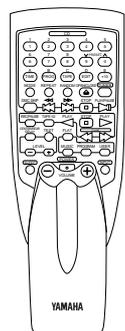
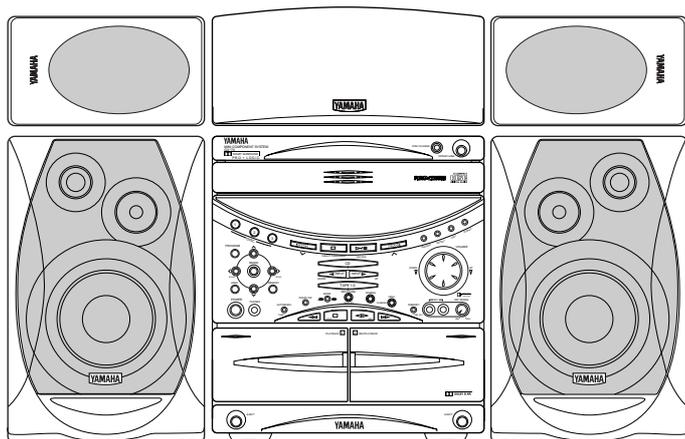


# YAMAHA

## ミニコンポーネントシステム

# GX-70

### 取扱説明書



COMPACT  
disc  
DIGITAL AUDIO

Active Servo  
Technology

このたびは、YAMAHAミニコンポーネントシステムGX-70をお買い求めいただきまして、誠にありがとうございます。

GX-70の優れた性能を十分に発揮させると共に、永年支障なくお使いいただくためにも、ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みください。

お読みになったあとは、保証書と共に大切に保管してください。

ご使用の前に必ずお読みください

#### 保証書の手続きを

お買い求めいただきました際、購入店で必ず保証書の手続きを行ってください。保証書に販売店名、購入日などの記入がありませんと、保証期間中でも万一サービスの必要がある場合に実費をいただくことがありますので、充分ご注意ください。

## もくじ

ページ

安全上のご注意	2~3
おもな特長	4
お使いになる前の準備 (接続と設置)	5~13
リモコンの準備	14
時刻の合わせかた	15

はじめに

基本操作(電源・音量)	16~17
CDを聞くには	18~25
テープを聞くには	26~29
ラジオ放送を聞くには	30~32
好みの音質/音場で聞くには	33~39

演奏(再生)

CDを録音するには	40~45
テープダビングするには	46~47
ラジオ放送を録音するには	48~49
タイマーを使うには	50~53
カラオケを楽しむには	54
他の機器を楽しむには	55

録音・その他

各部のなまえ	56~59
CDやテープについて	60~61
お手入れするには	62
参考資料	63
故障かな?と思ったら	64~65
仕様について	66
ヤマハホットラインサービスネットワーク	67

ご参考

**YAMAHA**

# 安全上のご注意 (安全に正しくお使いいただくために)

ご使用の前に必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みになり、正しくお使いください。またお読みになったあと、いつでも見られる所に必ず保存してください。

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



## 警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

設置されるとき		使用中に異常が発生したとき		
	<p>本機に水が入ったり、ぬらさないようご注意ください。火災・感電の原因となります。表示された電源電圧交流100V以外の電圧で 사용하지 しないでください。火災・感電の原因となります。本機を使用できるのは日本国内のみです。船舶などの直流(DC)電源には接続しないでください。火災の原因となります。</p> <p>電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本機の下敷にならないようにしてください。コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。</p>		<p>電源コードが傷んだら(芯線の露出、断線など)販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。</p>	
	<p>水場での使用禁止</p> <p>風呂場では使用しないでください。火災・感電の原因となります。</p>		<p>万一機器の内部に水や異物が入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。</p>	
ご使用になるとき				
	<p>本機の上に水などの入った容器や小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合火災・感電の原因となります。</p> <p>本機の通風孔、カセットテープの挿入口、ディスク挿入口などから内部に金属類や燃えやすいものを差し込んだり、落し込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。</p> <p>電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して、火災・感電の原因となります。</p>			<p>万一、本機を落としたり、キャビネットを損傷した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。</p>
	<p>分解禁止</p> <p>本機のキャビネットは絶対に外さないでください。感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店にご依頼ください。本機を改造しないでください。火災・感電の原因となります。</p>			<p>分解禁止</p>
<p>接触禁止</p> <p>雷が鳴り出したら、アンテナ線には触れないでください。感電の原因となります。(外部アンテナ使用時)</p>	<p>接触禁止</p>	<p>絵表示の例</p> <p> 記号は注意(危険・警告を含む)を促す内容があることを告げるものです。</p> <p> 記号は禁止の行為であることを告げるものです。</p> <p> 記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。</p>		



# 注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損傷のみの発生が想定される内容を示しています。

安全上の注意

設置される時	ご使用になる時
 <p>アンテナ工事には、技術と経験が必要ですので、販売店にご相談ください。</p>	<p>接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。また接続は指定のコードを使用してください。電源を入れる前には音量（ボリューム）を最小にしてください。突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。</p>  <p>付属のリモコンに電池を挿入する場合、極性表示（プラス⊕とマイナス⊖の向き）に注意し、表示通りに入れてください。間違えると電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。</p>
 <p>湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。</p> <p>ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。</p> <p>電源コードを熱器具に近付けないでください。コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。</p> <p>直射日光が当たる場所など異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。キャビネットや部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。</p> <p>濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。</p> <p>電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。本機の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがありますので、次の点にご注意してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本機を押し入れ、本箱など風通しの悪い狭い所に押し込まないでください。</li> <li>・テーブルクロスを掛けたり、じゅうたんや、布団の上に置かないでください。</li> </ul>	 <p>指定以外の電池は使用しないでください。また、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。</p> <p>レーザー光源をのぞき込まないでください。レーザー光が目にあたると視力障害を起こすことがあります。</p>  <p>お子様がカセットテープ挿入口やディスク挿入口に、手を入れないようご注意ください。けがの原因となることがあります。</p>  <p>旅行などで長期間、本機をご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。</p>
 <p>本機を設置する場合は、間隔をおいてください。また、放熱をよくするために、他の機器との間は少し離して置いてください。天面から10cm以上、背面から10cm以上のすきまを開けてください。</p>	<h3 data-bbox="999 1473 1257 1507">お手入れについて</h3>  <p>1年に一度くらいは内部の掃除を販売店にご相談ください。本機の内部にほこりのたまったまま、長い間掃除しないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、掃除費用については販売店にご相談ください。</p>
 <p>移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コードを外してから行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。また、カセットテープやCDディスクは取り出しておいてください。それを怠ると故障の原因となることがあります。</p>	 <p>お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。感電の原因となることがあります。</p>

# おもな特長

CDプレーヤー、AVアンプ、チューナーカセットデッキ一体型のニューデザインコンポ

小型スピーカーでも、豊かな重低音を再生するヤマハ・アクティブ・サーボ・テクノロジー搭載

フロント2台、リア2台、センター1台の5スピーカーシステムで、多彩な音場再生を実現

ドルビー処理された映像ソフトの音場を忠実に再現するドルビープロロジック搭載

フロントは実用最大出力75W + 75Wで迫力ある音が楽しめます

CD3枚連続演奏が楽しめます

CDからの編集が簡単にできる多機能・高音質CDプレーヤー

両面連続再生（最大8回）ができるWRリバースメカニズム

FM/AM合計40局ランダムプリセット付シンセサイザーチューナー（AMステレオ対応）

グラフィックイコライザー（音楽ジャンルに合わせた4パターンのプリセットイコライザー付き）

映画、コンサートからカラオケまで、それぞれのソースを十分に味わえる7種類の音場効果

マイクミキシングでカラオケが楽しめます（デジタルエコー付き）

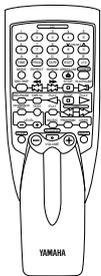
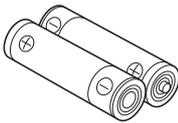
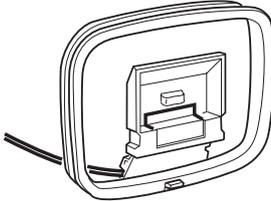
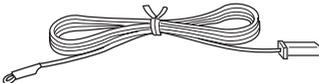
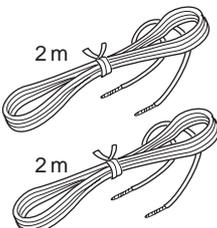
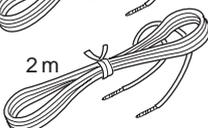
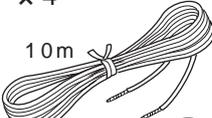
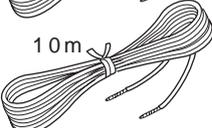
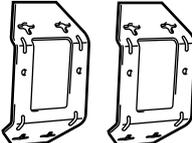
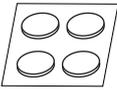
電源を切っただけでも、ワンタッチで演奏を始めるダイレクトプレイ機能

45キー多機能ワイヤレスリモコン

はじめに、次のことをお確かめください。

- 1 保証書にお買い上げ店名を記入してもらいましたか？
- 2 付属品はすべてそろっていますか？

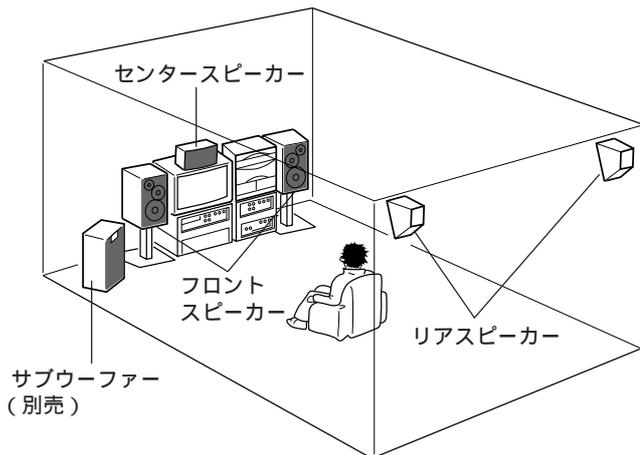
## 付属品

<p>リモコン × 1</p> 	<p>単3乾電池 × 2</p> 	<p>AM用ループアンテナ × 1</p> 	<p>FMアンテナ × 1</p> 
<p>スピーカーコード × 4</p> <p>2m</p>  <p>2m</p> 	<p>10m</p>  <p>10m</p> 	<p>リアスピーカー取付け金具 × 2</p>  <p>ネジ × 4</p> 	<p>センタースピーカーゴム足 × 4</p>  <p>その他</p> <p>取扱説明書 × 1</p> <p>保証書 × 1</p>

# お使いになる前の準備

## スピーカーの置きかた

下図はテレビの上にセンタースピーカーを置き、リアスピーカーを壁に掛けて設置した例です。この設置例を参考にしてスピーカーを配置すると、バランスの良い音場効果が得られ、ドルビープロロジックなどのサラウンド効果を十分にお楽しみいただけます。



リアスピーカーは縦型、横型どちらでも設置できます。また、お部屋に合わせて床に置いたり、壁に掛けることもできます。8ページの「リアスピーカーの設置方法」を参照してください。

### 設置上のご注意

本機のフロントスピーカーとセンタースピーカーは防磁タイプですが、テレビの近くで使用して、テレビの画面に色ムラが起きてしまった場合はスピーカーとテレビの距離を離してください。

消磁回路をもつテレビをご使用の場合は、次のように処置してください。

1. テレビの電源を切る
2. 30分たってからもう一度テレビの電源を入れる  
色ムラが起これなければ、そのままの状態でお使いください。色ムラがまだ起こるようであれば、スピーカーとテレビの距離を離してください。

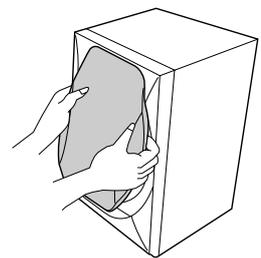
放熱を良くするため本機の天面10cm、背面10cm以上のすきまをあけてください。

リアスピーカーのコードに誤って足などを引っかけないように、十分ご注意ください。

### サラネットの取り外し

フロントスピーカーのサラネットは、はめ込み式で取り付けられています。

最初にサラネット低部を手前に引いてゆるめ、次にサラネットの両側を持ってまっすぐ手前に引くと取りはずすことができます。

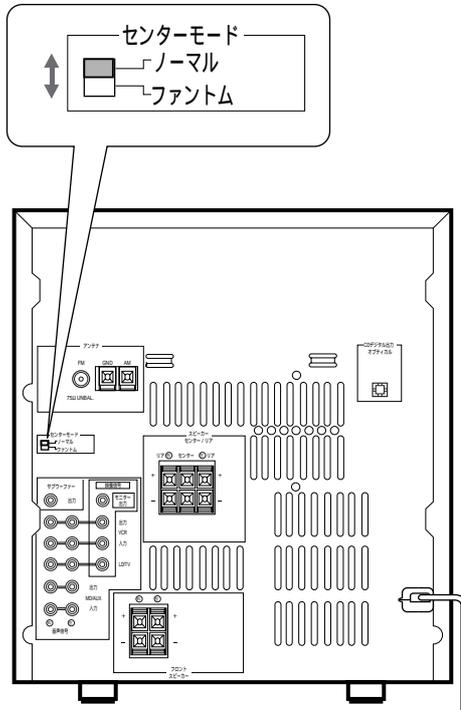


取り付けは、サラネット裏側に付いている4個のストライク(プラスチックの突起)と本体側キャッチャー(ストライク受け部)を合わせて軽く押し込んでください。(サラネットの布部分は押さえないでください。)

# お使いになる前の準備

## センターモードの設定

センタースピーカーを使用するか、使用しないかによってセンターモードを設定します。



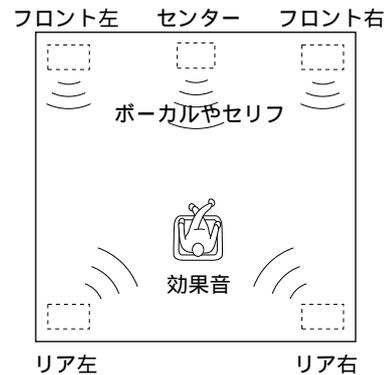
センタースピーカーを使用する5スピーカー構成の場合は、本機背面のセンターモードセレクターを“ノーマル”にします。センタースピーカーを使用しない4スピーカー構成の場合は、“ファントム”にします。

右欄の説明を参照して、スピーカー構成を決めてください。

プログラムモードの **PRO LOGIC** または **3 STEREO** を選ぶと、ノーマルに設定した場合は前面のディスプレイに“NOR”が、ファントムに設定した場合は“PHANTOM”が点灯します。**PRO LOGIC** または **3 STEREO** 以外のプログラムモードでは点灯しません。

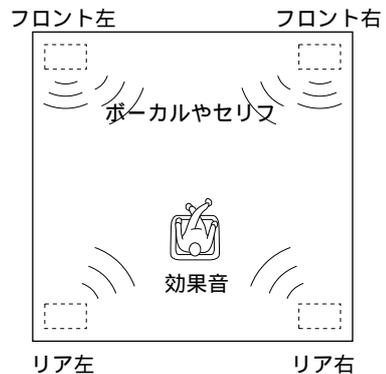
### 5-スピーカー構成(ノーマル)

本システムは5台のスピーカー構成により、臨場感あふれる音場を再現できるように設計されています。フロントスピーカーからはメインの音\*1と効果音\*2を出し、リアスピーカーからは効果音を出します。ドルビーサラウンド処理されたソースの場合、センタースピーカーを使うことにより、ボーカルやセリフの定位が大きく改善されます。



### 4-スピーカー構成(ファントム)

フロントスピーカーからはメインの音\*1と効果音\*2を出し、リアスピーカーからは効果音を出します。ドルビーサラウンド処理されたソースの場合、ボーカルやセリフは左右のフロントスピーカーから聞こえます。ドルビーサラウンド以外のソースでは、5-スピーカー構成と同じ音場効果が得られます。



\*1 フロントスピーカーからの、効果をかけない通常のステレオ音をメインの音といいます。

\*2 サラウンド音、音質効果を加えた音を総称して効果音といいます。

## 接続上のご注意

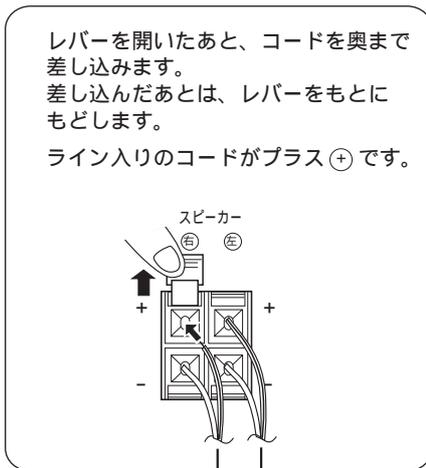
コードは本書の説明どおりに接続してください。  
スピーカーコードのプラス $\oplus$ 、マイナス $\ominus$ をまちがえないように接続してください。  
この製品はアクティブ・サーボ・テクノロジーシステムを搭載していますのでフロント、リア、センタースピーカーには必ず付属のスピーカー(フロント:NX-GX70、リア:NX-E70、センター:NX-C70)だけを使用してください。  
(他のスピーカーを使用した場合、故障の原因となります)

各接続コードやプラグは最後までしっかりと差し込んでください。  
しっかり差し込まれていないと、雑音がでたり、スピーカーをいためる原因になります。  
接続がすべて終わったあと、電源コードをコンセントに差し込んでください。

## スピーカーの接続

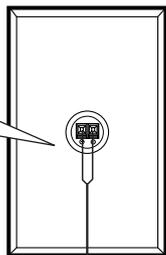
### フロントスピーカーの接続

付属のスピーカーコード(2m)で接続します。

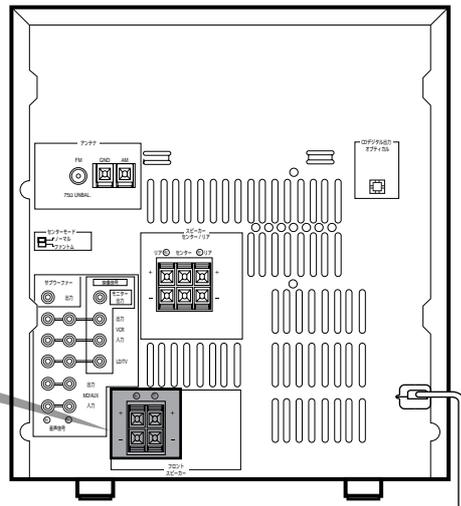
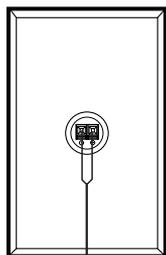


スピーカーコード

右スピーカー  
(NX-GX70)



左スピーカー  
(NX-GX70)



### ご注意

付属のフロントスピーカー(NX-GX70)以外は接続しないでください。

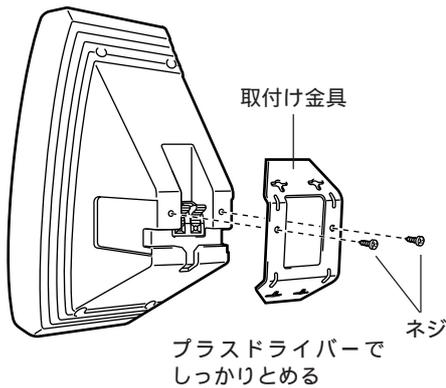
# お使いになる前の準備

## リアスピーカーの設置方法

リアスピーカーはコーナーに設置しやすいように、背面の角度が90度になっており、縦置き、または横置きのどちらにも対応できます。床やラックの上に置いたり、付属の金具を使って壁に掛けることもできます。

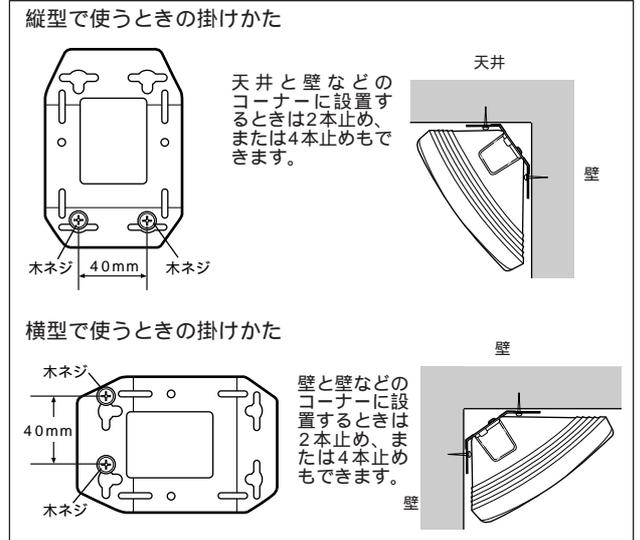
壁に掛ける場合(接続の前に金具を取付けてください。)

1 付属の金具をスピーカー背面にネジで取付けます。

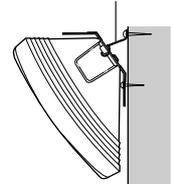


取付け金具はスピーカー背面の角度に合わせて作られています。逆向きに取付けないでください。

2 本体にスピーカーを接続した後、壁に木ネジを取り付け、金具の穴を木ネジにしっかりと差し込みます。

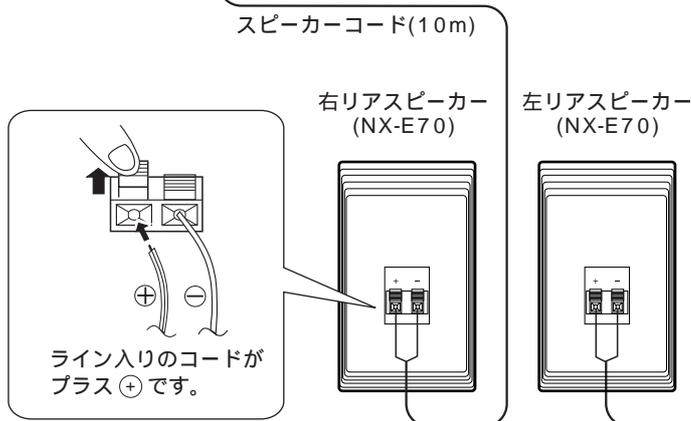
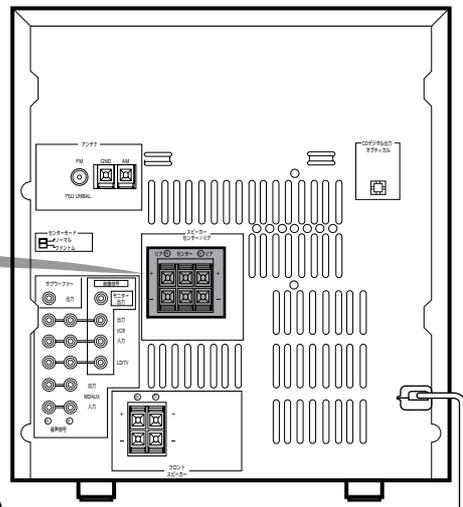
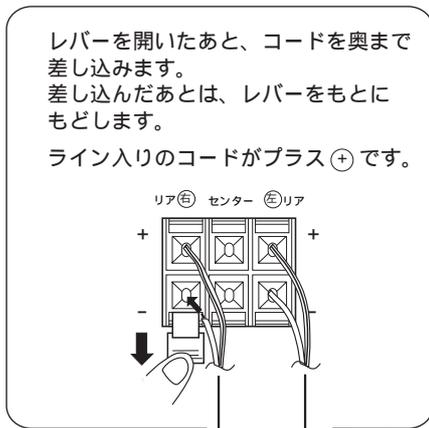


しっかりした壁または柱に、木ネジ(直径4mm、長さ30mm以上)をねじ込み(柱の場合は30mm以上内側に)、取付け金具を木ネジに掛けてください。モルタルなどはがれやすい材質の壁には取り付けないでください。



## リアスピーカーの接続

付属のスピーカーコード(10m)で接続します。



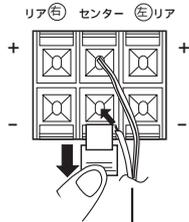
### ご注意

付属のリアスピーカー(NX-E70)以外は接続しないでください。片方のスピーカーだけを接続しても音は出ません。必ず左右のスピーカーを接続してください。

## センタースピーカーの接続

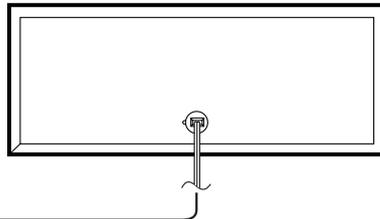
レバーを開いたあと、コードを奥まで差し込みます。  
差し込んだあとは、レバーをもとにもどします。

ライン入りのコードがプラス(+)です。



スピーカーコードはセンタースピーカーにしか付けられています。

センタースピーカー  
(NX-C70)



### ご注意

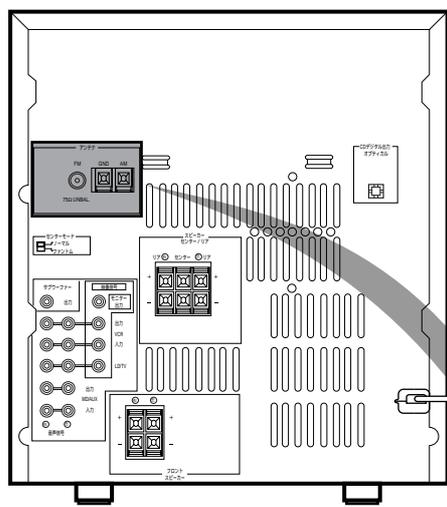
付属のセンタースピーカー(NX-C70)以外は接続しないでください。

### 付属のゴム足について

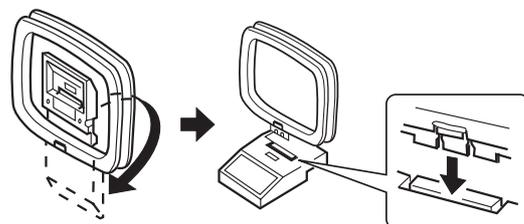
テレビの上などにセンタースピーカーを設置する場合は、付属のゴム足をシートからはがし、スピーカーの底面四隅に貼ってください。滑り止めに効果があります。

## 付属アンテナの接続

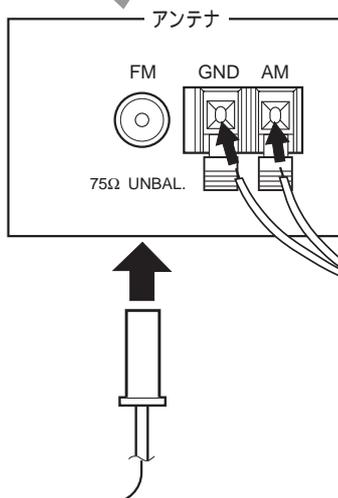
お使いになる前の準備



AM用ループアンテナの組み立て



**FM用アンテナ**  
放送を聞きながら歪や雑音の最も少ない位置に、押しピンなどで固定します。

A diagram showing the FM antenna being fixed to the device. The antenna is a small circular loop. A pushpin is shown being used to secure it to the device's chassis. The antenna is connected to the FM terminal on the antenna panel.

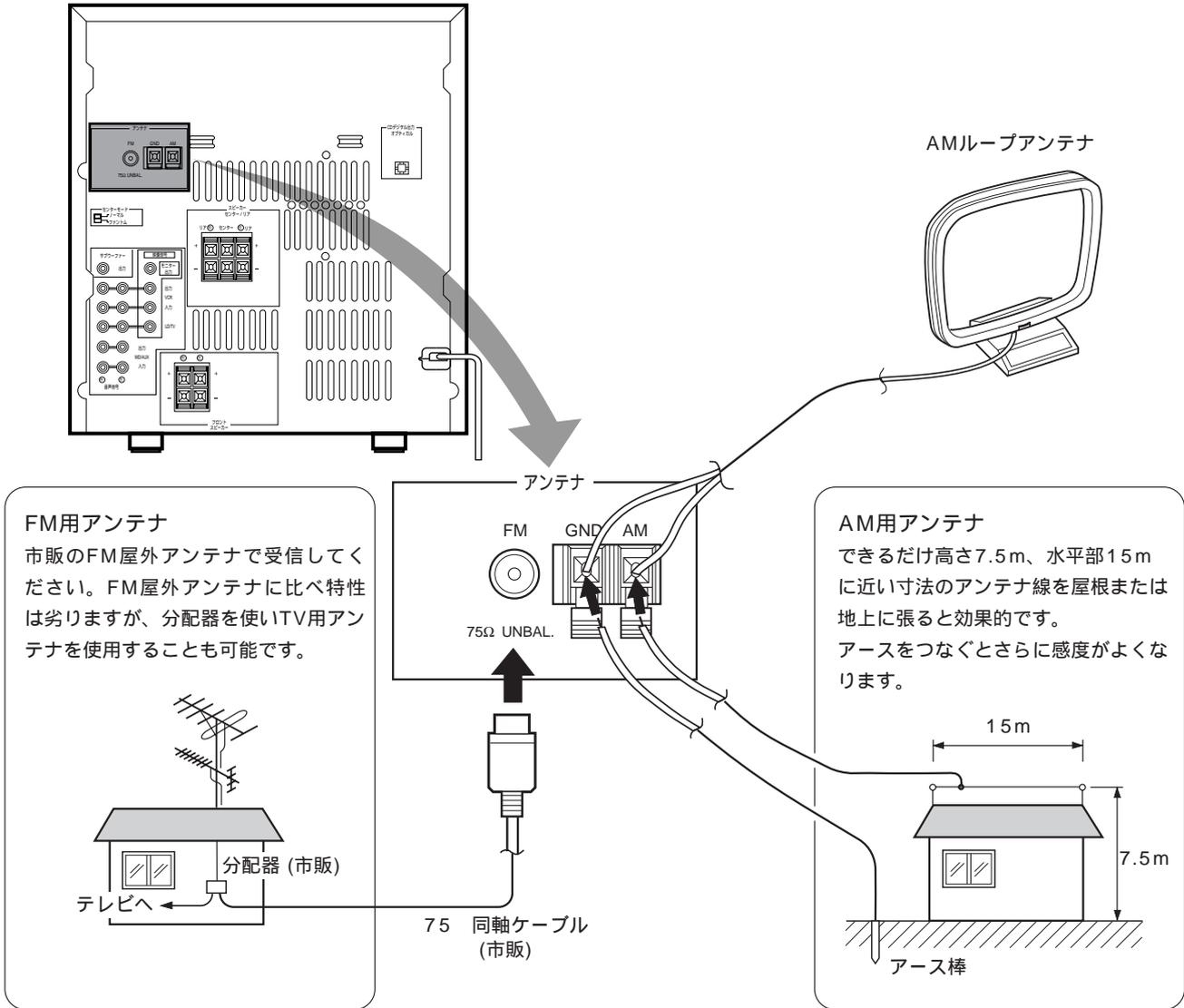
**AM用ループアンテナ**  
放送が最もきれいに聞こえる方向にします。  
アンテナは本体から離してください。本体や接続コードなどに近づけると雑音が入ることがあります。

A diagram showing the AM loop antenna being rotated. The antenna is shown in its loop configuration. Arrows indicate the direction of rotation, suggesting that the user should rotate the antenna to find the best reception direction.

## 屋外アンテナの接続

付属のアンテナでラジオ放送がきれいに聞こえないときは、屋外アンテナを使います。  
(屋外アンテナのつなぎかたなど、くわしくは販売店におたずねください。)

お使いになる前の準備



### 屋外アンテナを立てる場所について

放送局の送信アンテナがある方向に立てます。  
ビルや山のかけなど、障害物がある所では、最もよく受信できる所に立てて方向も変えてみます。

送電線の下には立てないでください。  
送電線にアンテナが触れると大変危険です。

自動車や電車の雑音が入らないよう、道路や線路からはなれた所、またはそれが見えない所に立てるようにしてください。

落雷のおそれがありますのであまり高い所には立てないでください。

他の機器との接続

接続上のご注意

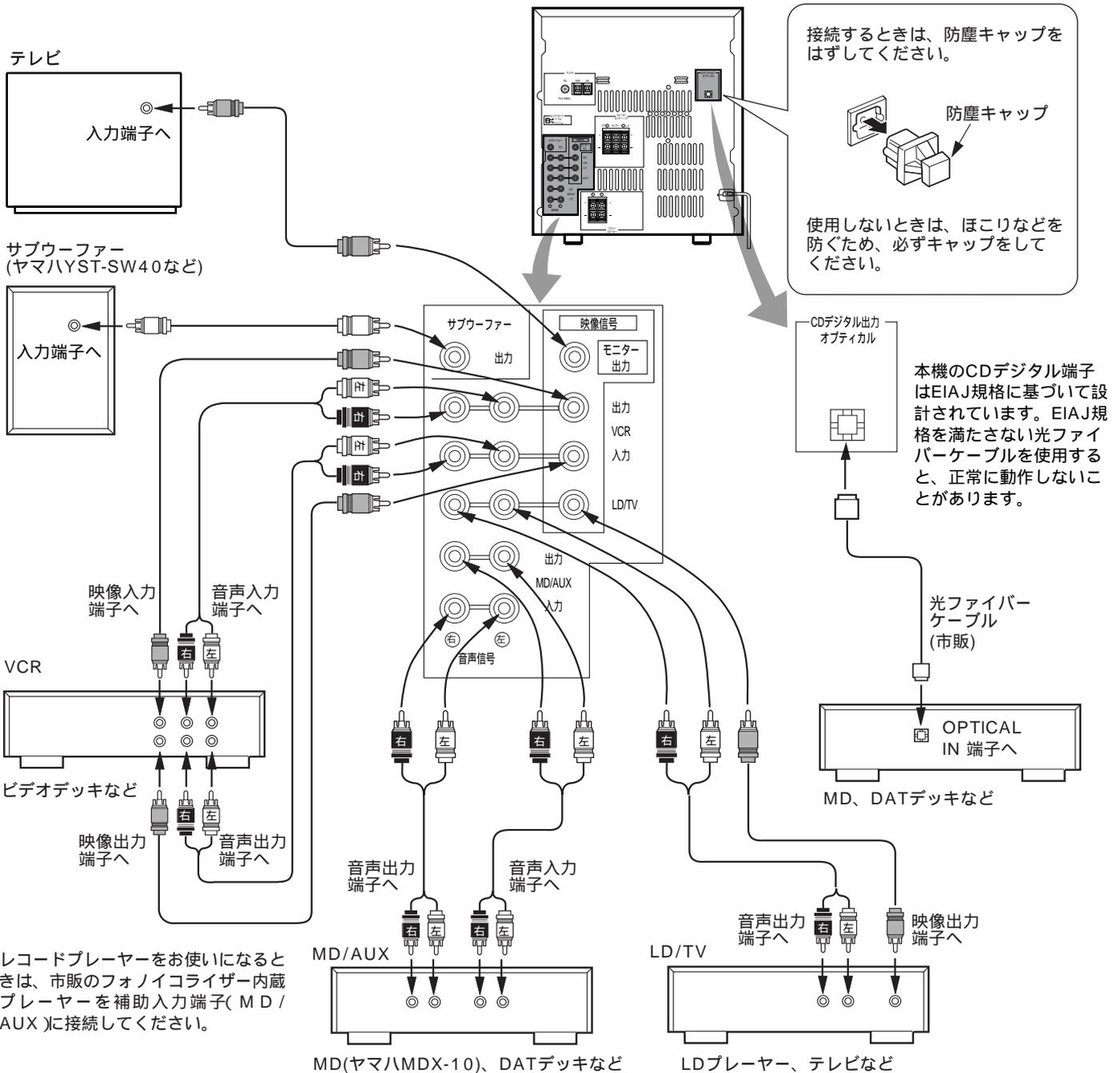
接続は、本機および接続する機器の電源プラグをコンセントから抜いた状態で行ってください。  
コードは本書の説明どおりに接続してください。  
接続コードは付属していませんので、お買い上げの販売店でお求めください。  
音声信号の(右)R端子には接続コードの赤のプラグを、(左)L端子には白のプラグを接続します。映像信号の端子には、黄色のプラグを接続します。

各接続コードは最後までしっかりと差し込んでください。しっかり差し込まれていないと、雑音が出る原因になります。  
機器によっては接続方法や端子名が異なる場合があります。それぞれの機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

下図では、接続コードのプラグの色を次のように示します。



お使いになる前の準備



## CDデジタル出力端子について

この端子は、本機CDのデジタル信号(光)を出力します。OPTICAL INPUT端子を持つ録音機器(MD、DAT、DCCなど)と接続して、本機CDを録音することができます。

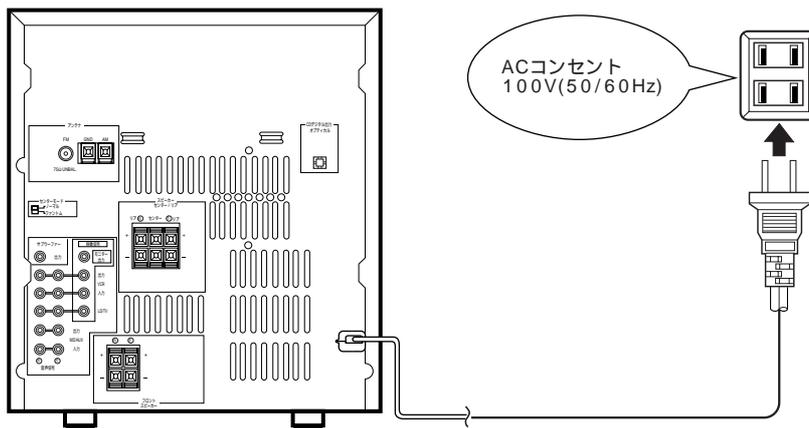
### ご注意

CDデジタル出力端子は、他のファンクション(TAPE、TUNER、LD/TV、MD/AUX)の信号やマイクからの音声を出力しません。  
また、音質/音場効果のデジタル信号も出力しません。

## 電源コードの接続

接続が終わったあと、電源コードを接続します。

電源コードを接続すると、CD/チューナー部のディスプレイ(表示)が点滅します。まず最初に時刻合わせ(15ページ)を行ってください。

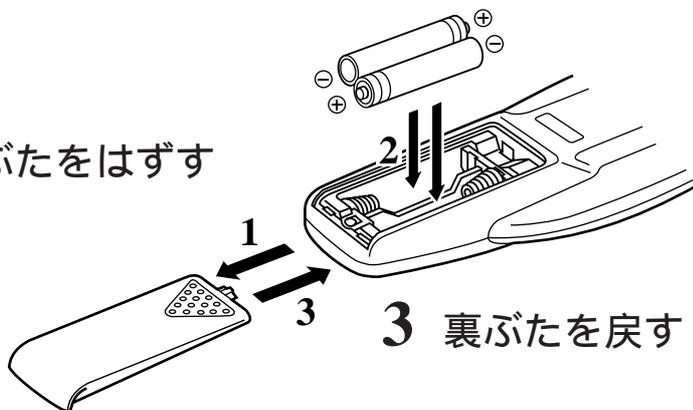


# リモコンの準備

## 乾電池の入れかた

### 2 単3乾電池（2個）を入れる

### 1 裏ぶたをはずす



### 3 裏ぶたを戻す

## 乾電池のご注意

乾電池は誤った使い方をすると、液もれが起きたり破れつすることがありますので、次の点に特に注意してください。

乾電池のプラス $\oplus$ とマイナス $\ominus$ の向きを表示どおりに正しく入れてください。

新しい乾電池と一度使用した乾電池を混ぜて使用しないでください。

種類のちがう乾電池を混ぜて使用しないでください。同じ形状でも電圧の異なるものがあります。

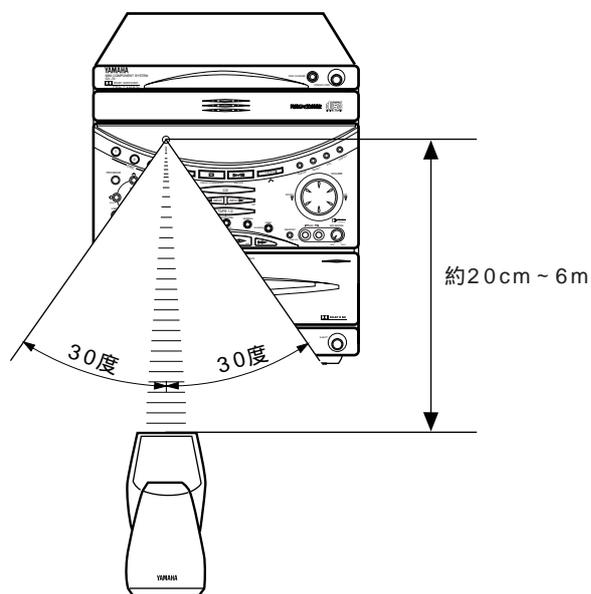
乾電池が使えなくなったり、本機を長い間使わないときは、乾電池を全部取り出してください。

乾電池には充電式と充電式でないものがあります。

乾電池の注意表示をよく見てご使用ください。

液もれが起こったときは、ケースの中についた液をよくふき取ってください。

## リモコンの使用範囲



### リモコン用乾電池の交換時期

リモコン用乾電池の寿命は通常のご使用で約1年間です。

リモコン受信部に近寄らないと動作をしない場合は、乾電池を交換してください。

### リモコン取扱上のご注意

受信部とリモコンの間に障害物があると操作できないことがあります。

リモコンには衝撃を与えないでください。また、水にぬらしたり、温度の高い所には置かないでください。

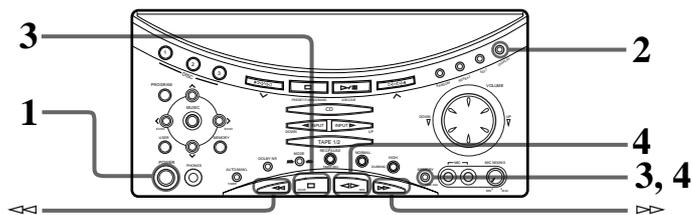
受信部に直射日光や強い照明（インバーター蛍光灯など）が当たっているとリモコンが働きにくくなります。

照明または製品本体の向きを変えてください。

他の機器のリモコンを同時に操作すると、動作をしないことがあります。

# 時刻の合わせかた

電源コードをつなぐとディスプレイ部が、点滅します。下記の方法で時刻を合わせてください。



(例) 午前10時30分に合わせるとき

## 1 電源を入れる

パワー  
POWERボタンを押す

POWER



電源OFFの状態でも、時刻合わせができます。  
その場合は、3 ~ 4の操作をしてください。

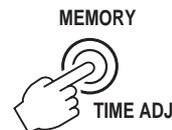
## 2 時計表示にする

ディスプレイ  
DISPLAYボタンを一度押す  
約8秒間何も操作しないと、自動的に元の表示(ファンクション表示)に戻ります。そのときは、もう一度DISPLAYボタンを押してください。



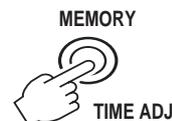
## 3 “時”合わせ

タイムアジャスト  
TIME ADJボタンを押したまま、アワー  
HOURボタンを押す  
1回押すと1時間進みます。  
時間を戻すには、◀◀ ボタンを押します。  
押し続けると、連続して進みます。  
希望の時刻で、HOURボタンから指をはなします。



## 4 “分”合わせ

タイムアジャスト  
TIME ADJボタンを押したまま、ミニッツ  
MINボタンを押す  
1回押すと1分進みます。  
分を戻すには、▶▶ ボタンを押します。  
押し続けると、連続して進みます。  
希望の時刻でMINUTEボタンから指をはなします。  
“分”設定中は、表示が“59”から“00”になっても設定した時間は変わりません。  
“0”秒からスタートします。



タイムアジャスト  
時刻合わせが終わったら、TIME ADJボタンから指をはなす

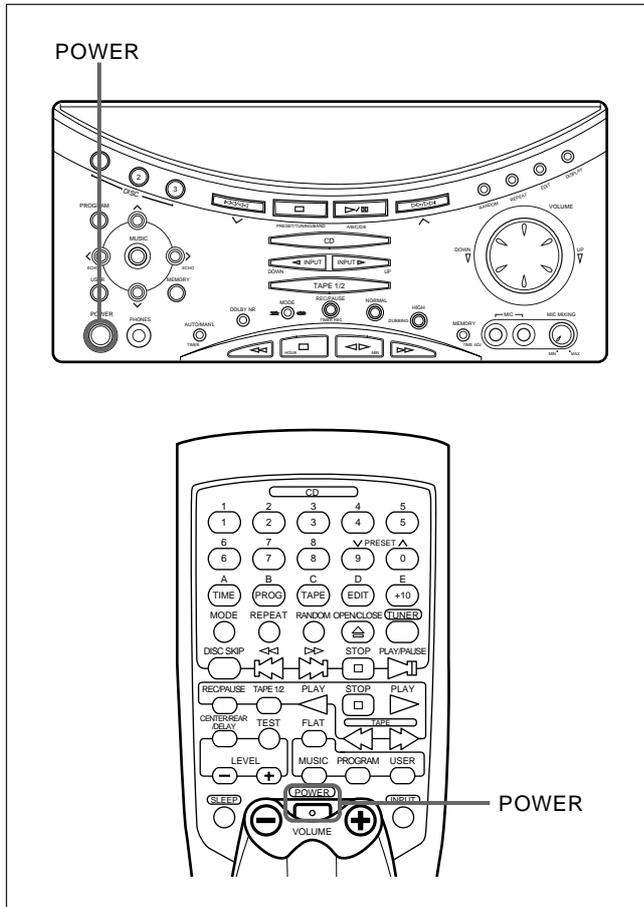
POWER ONの場合、時計表示はしばらくすると消えて、元の表示(ファンクション表示)に戻ります。  
秒まで正しく合わせるときは電話の時報サービス(117番:有料)をご利用になると便利です。

5分以上電源コードが抜けたり、停電になると、時計は停止します。  
再び、通電すると時計表示が点滅しますので、もう一度時刻を合わせ直してください。

時計表示が点滅状態になっていると、タイマー再生・タイマー録音はできません。

# 基本操作（電源・音量）

## 電源を入れる・切るには



基本操作（電源・音量）

電源プラグがコンセントに接続され、本機の電源が切れている状態をスタンバイ状態といいます。スタンバイ状態ではメモリー保持のため微弱な通電を行っており、時計表示が点灯(時刻合わせをしてある場合)または点滅(時刻合わせをしていない場合)します。この状態で、リモコン操作によっても電源の入/切ができます。

CDやカセットデッキでは、POWERボタンを押さなくても自動的に電源が入り、演奏が始まるダイレクトプレイ機能があります。(19ページ、27ページ)

## オートパワーオフ機能

CD、またはカセットデッキの停止状態(ボタン操作もしない状態)が30分以上続くと、自動的に電源が切れます。ただし、時刻合わせをしていない場合は、機能しません。

ファンクションがCDまたはカセットデッキ以外の場合は、この機能ははたらきません。

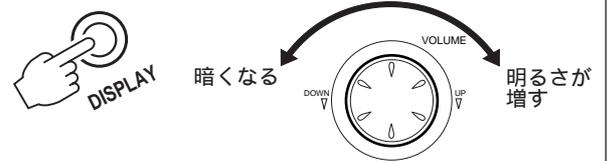
## ディスプレイの明るさを変えるには

電源が切れているときでも調整できます。

1. DISPLAYボタンを2秒以上押し、“DIMMER ± 0”を表示させる



2. DISPLAYボタンを押し続けたまま、VOLUMEつまみを廻す

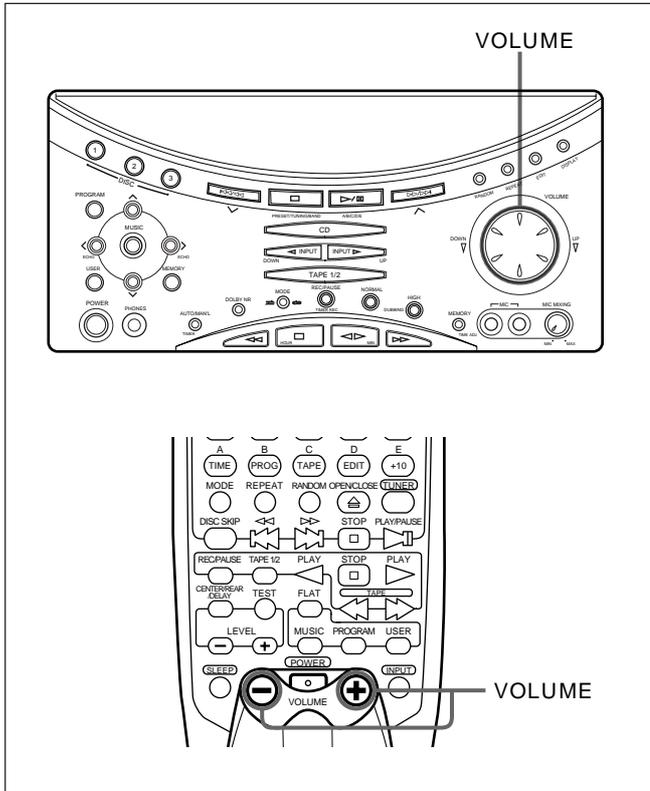


調整範囲

電源が入っているとき: ± 0 から - 6 まで

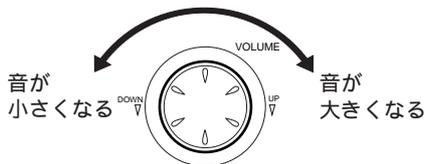
電源が切れているとき: + 3 から - 3 まで

## 音量を変えるには



### 本体

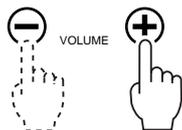
ボリューム  
VOLUMEつまみを回す



最小の位置( MIN表示 )から右に約1回転半回すと最大( MAX表示 )になります。

### リモコン

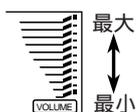
ボリューム  
VOLUMEボタンの「+」または「-」を押す



音が小さくなる

音が大きくなる

音量はMIN( 最小 )からMAX( 最大 )のあいだで調節でき、調節した音量が一時的に表示されます。VOLUMEメーターはおおよその目安を表わします。



### ご注意

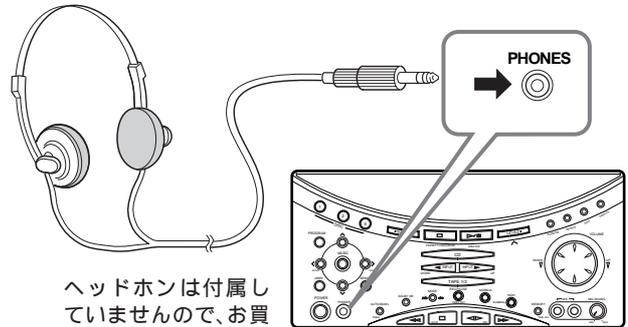
デジタル録音されているCDは、音の強さの変化範囲が広がっています。小さい音から大きい音に急激に変化する音楽などを大きな音量(最大付近)で長時間聞くと、スピーカーを破損する恐れがありますので、音量設定に注意してご使用ください。大きな音量で使用した場合、本機内部が一定の温度まで上昇すると、回路の保護のためファンがまわります。

### メモ

全体の音量とは別に、リアスピーカーとセンタースピーカーの音量を調整することができます。(38、39ページ)

## ヘッドホンで聞くには

接続するときは音量を下げてください。ヘッドホンをつなぐと、スピーカーからは音は聞こえなくなります。インピーダンス16 ~ 50 (推奨32)で、直径3.5mmステレオミニプラグ付のヘッドホンをお使いください。



ヘッドホンは付属していませんので、お買い上げの販売店で求めください。

### 音楽のエチケット



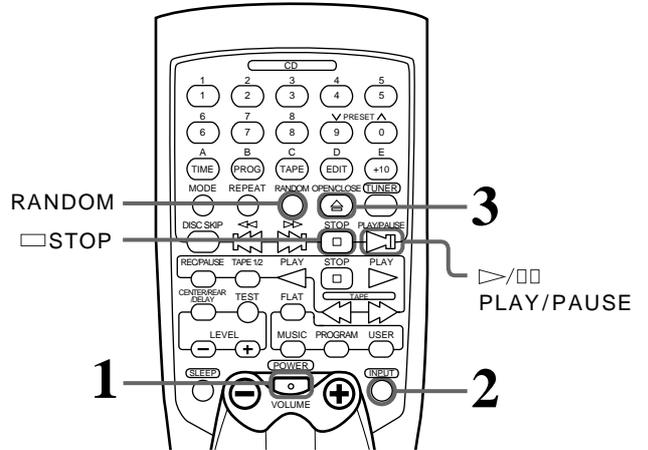
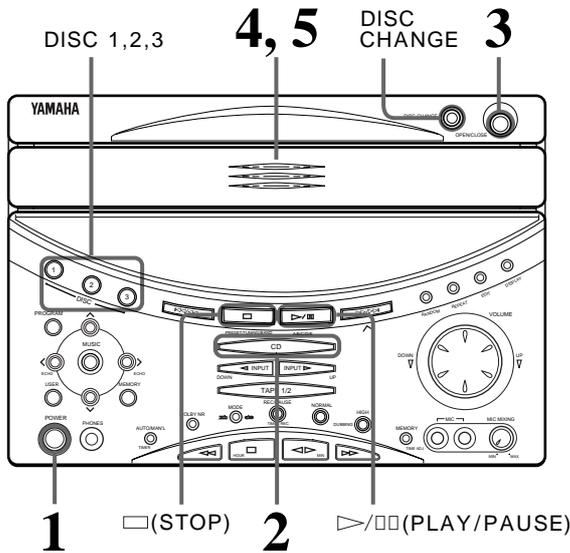
楽しい音楽も場所によっては気になるものです。ご近所のご迷惑にならないよう、十分気を付けましょう。

夜間にお使いになるときは、ご近所のご迷惑にならないよう、音量を小さくするか、ヘッドホンでお楽しみください。

ヘッドホンをご使用になるときは、耳をあまり刺激しないよう、音量を小さくしてお楽しみください。

# CDを聞くには

## 1曲目から聞くには



CDを聞くには

### 1 電源を入れる

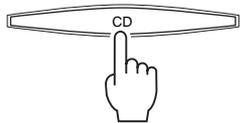
パワー  
POWERボタンを押す

POWER



### 2 ファンクションをCDにする

本体



リモコン

INPUT



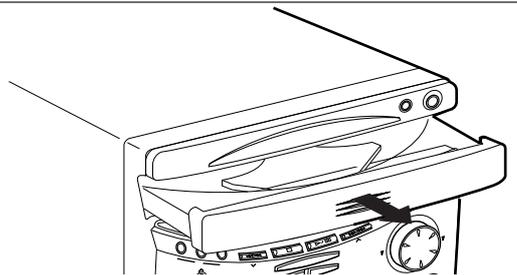
ディスプレイに「CD」が表示されるまで  
INPUTボタンを何回か押す

CDの文字が左にスクロールして(流れて)消えます。

### 3 ディスクテーブルを開ける

オープン クローズ  
OPEN/CLOSE(≡)ボタンを押す  
ディスクテーブルが手前に出てきます。

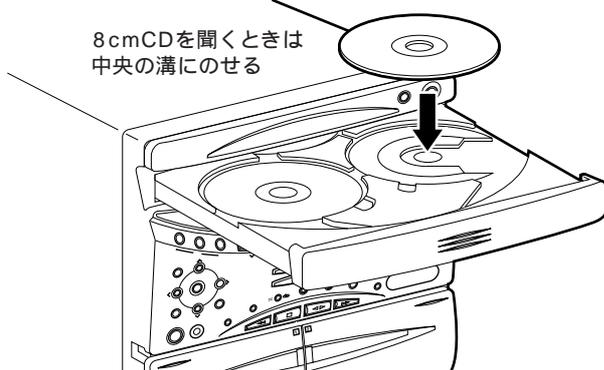
OPEN/CLOSE



### 4 CDを入れる

8cmCDを聞くとときは  
中央の溝にのせる

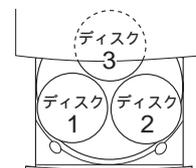
文字のある面を上



ディスクテーブルを開けると、下図の状態になります。

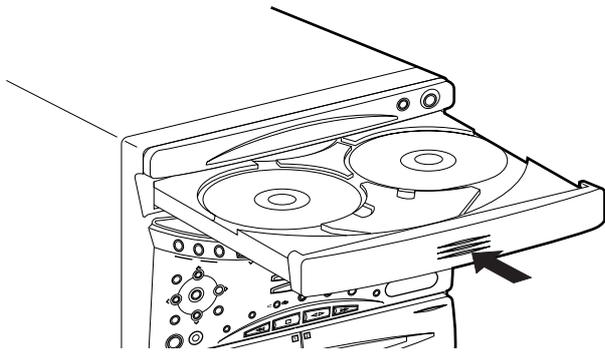
ディスク番号1 からCDをセットします。

1つのディスクトレイに1枚ずつ、最大3枚までセットできます。  
ディスクトレイ3(奥のディスクトレイ)にディスクをセットするには、DISC CHANGEボタンを押します。ディスクテーブルが回転してディスクトレイ3が手前になります。

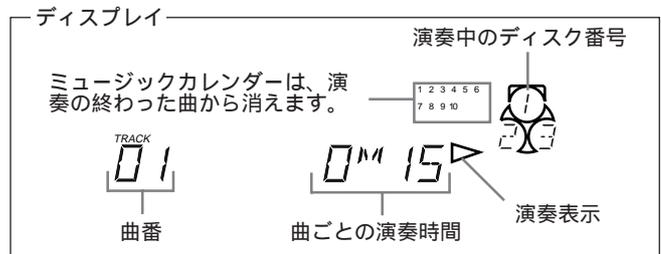


ディスク2およびディスク3を演奏したあとでは、ディスクトレイの位置は上図と異なります。

## 5 ディスクテーブルを軽く押す



CDの演奏が始まります。  
音量は17ページをごらんのうえ調整してください。



### 演奏を一時的に止めるには ▷/□

プレイ ボース  
▷/□ PLAY/PAUSEボタンを押す  
“▷”表示が点滅します。

再び演奏を始めるときは、もう一度 ▷/□ <sup>プレイ</sup>PLAY / <sup>ボース</sup>PAUSEボタンを押す  
止めたところから演奏が始まります。

### 演奏を止めるには □

ストップ  
□ STOPボタンを押す  
“▷”表示が消え“STOP”が表示されます。

### ワンタッチ演奏（ダイレクトプレイ）

電源が入っているとき  
CDがディスクトレイに入っていれば、他のファンクションを再生中でも、ワンタッチでCDの演奏を始めることができます。

リモコンの <sup>プレイ</sup>▷/□ <sup>ボース</sup>PLAY/PAUSEボタンを押す  
<sup>ランダム</sup>リモコンのRANDOMボタン、本体のDISC1～3のいずれかを押してもワンタッチ演奏ができます。  
テープ演奏中の場合はテープが停止します。

### 電源が切れているとき

リモコンの <sup>プレイ</sup>▷/□ <sup>ボース</sup>PLAY/PAUSEボタンを押す  
本体のCDボタン、DISC1～3ボタンのいずれかを押しても自動的に電源が入り、CDの演奏が始まります。

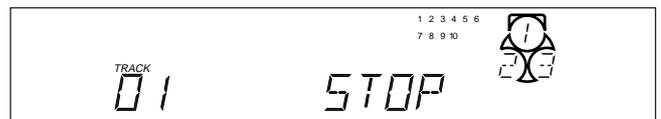
### 演奏を始める前に総曲数と演奏時間を知るには

CDを入れたあと、≡ OPEN/CLOSEボタンを押すと、ディスクテーブルを閉じてディスクの総曲数と総演奏時間を数秒間表示します。

ミュージックカレンダー  
15曲まで表示し、16曲以上入ったCDを入れると“OVER15”が点灯



数秒後に



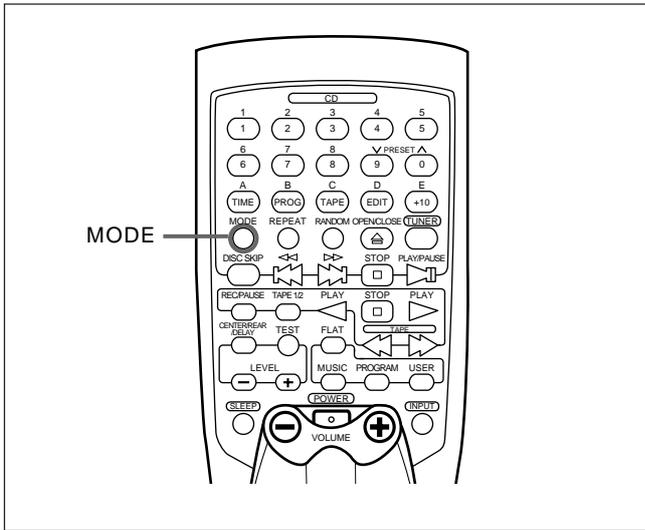
演奏を始めるには <sup>プレイ</sup>▷/□ <sup>ボース</sup>PLAY/PAUSEボタンを押します。

### ご注意

CDをディスクトレイに入れたままの状態、本機を移動したり傾けたりしないでください。

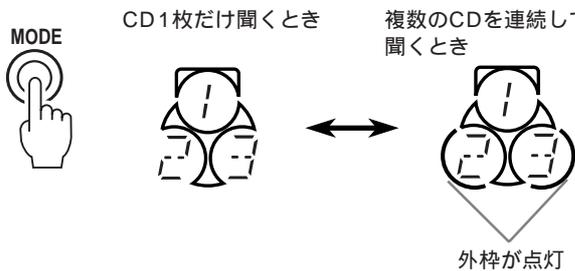
# CDを聞くには

## CDを3枚続けて演奏するには



モード  
リモコンのMODEボタンで“オールディスクモード”を設定する

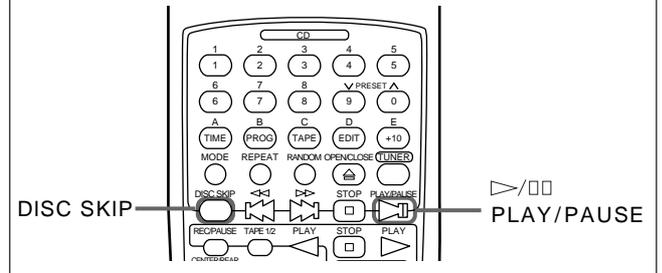
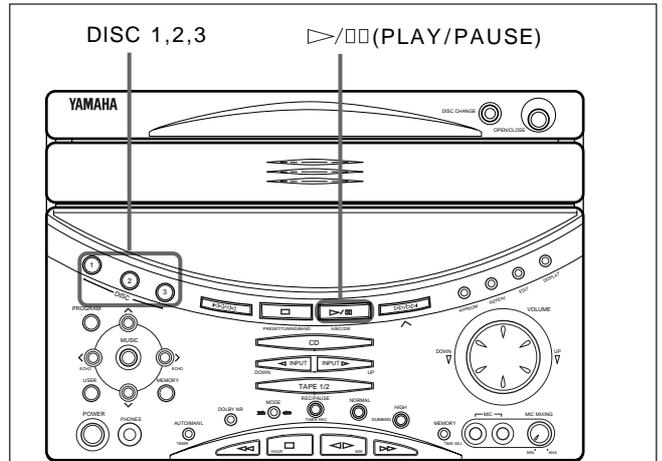
シングルディスクモード      オールディスクモード



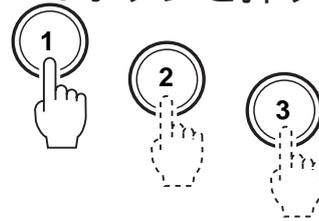
モード  
リモコンのMODEボタンを押すごとに、シングルディスク/オールディスクとモードが切り換わります。オールディスクモードでは、ディスク1 ディスク2 ディスク3 の順で連続演奏します。

停止中または一時停止中に操作した場合、演奏を始めるには  $\triangleright/\square$  プレイ ポーズ PLAY/PAUSEボタンを押します。

## 好きなCDから演奏するには



本体  
演奏したいディスク番号の  
ディスク  
DISC 1 ~ 3ボタンを押す



選んだディスク番号にディスクがあると、自動的に演奏を始めます。選んだディスク番号にディスクが無い場合は、選ぶ前のディスク番号に戻り、無いディスク番号表示は消えます。

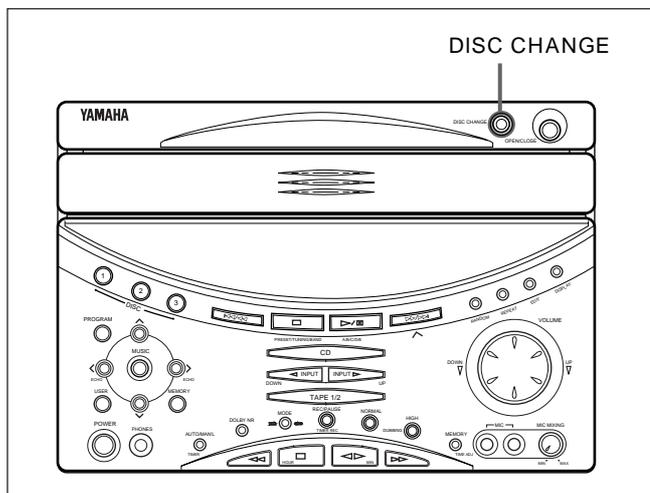
リモコン  
ディスク スキップ  
DISC SKIPボタンを押してディスク番号を選ぶ



ディスク番号は  
[ 1 2 3 ]  
の順で変わります。  
無いディスク番号は、飛ばします。

停止中または一時停止中に操作した場合、演奏を始めるには  $\triangleright/\square$  プレイ ポーズ PLAY/PAUSEボタンを押します。

## 演奏中に他のディスクを交換するには(ディスクチェンジ)



ディスク チェンジ  
 本体のDISC CHANGEボタンを押す

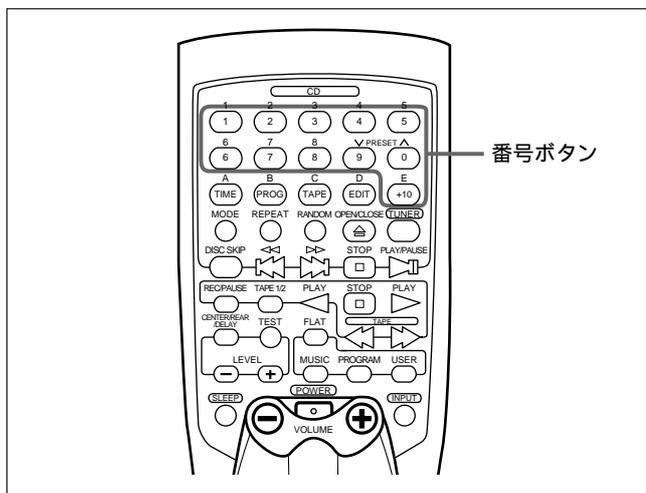


演奏中にDISC CHANGEボタンを押すと、CDを演奏したままトレイを開閉できます。演奏中に他のディスクの交換や取り出しができます。このとき、DISCボタン(本体)とDISC SKIPボタン(リモコン)の操作はできません。

### ご注意

複数のディスクにわたってプログラム選曲した場合は、ディスクチェンジ操作はできません。

## 曲番を指定して聞くには(ダイレクト選曲)



リモコンの番号ボタンで曲番を指定する

1 ~ 9、0 ボタン : 1の位を指定  
 +10 ボタン : 10の位を指定

12曲目を選ぶときは

+10 2 と押します。

20曲目を選ぶときは

+10 +10 0 と押します。

2つ以上のボタンを押すときは、3秒以内に押します。

選んだ曲の頭から演奏を始めます。

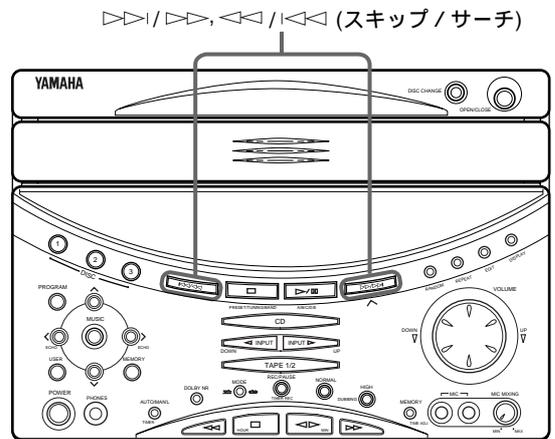
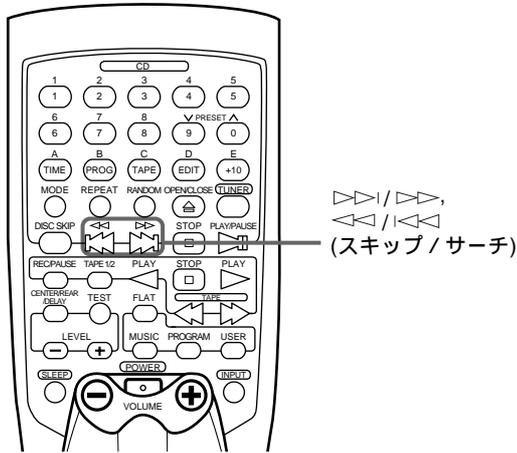
CDに入っている曲数より大きい曲番を選ぶと、最終曲を演奏します。

# CDを聞くには

## とびこして聞くには (自動頭出し)

## 聞きたい所をさがすには (スピードサーチ)

▷▷ / ▷▷、◁◁ / ◁◁ ボタンは、チョン押しではスキップボタン、連続押しではサーチボタンとして働きます。



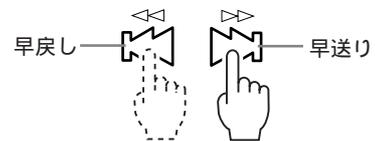
CDを聞くには

### 次の曲の頭から聞くには

演奏中に、▷▷ スキップボタンを押す



### 1 演奏中に、サーチボタンを押し続ける

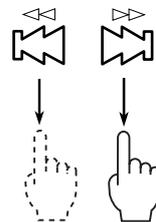


### 演奏中の曲を聞き直すには

演奏中に、◁◁ スキップボタンを押す



### 2 聞きたい所で、サーチボタンから指を離す



くり返して押し、曲番は大きく ▷▷ (小さく ◁◁) なり、曲番表示に表示された曲から演奏が始まります。

その位置から演奏が始まり、元の音量に戻ります。

#### メモ

停止中では、曲番が選べます。演奏したい曲番が表示されたら、▷/□ PLAY/PAUSEボタンを押して演奏を始めます。

#### メモ

一時停止中でもサーチ操作はできます。(音声なし)

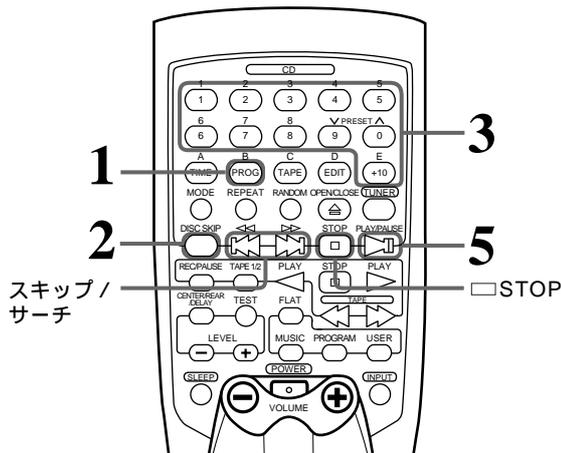
## 聞きたい曲を聞きたい順に 記憶させるには (プログラム演奏)

聞きたい曲を最大で20曲までプログラムして、好きな順に聞くことができます。

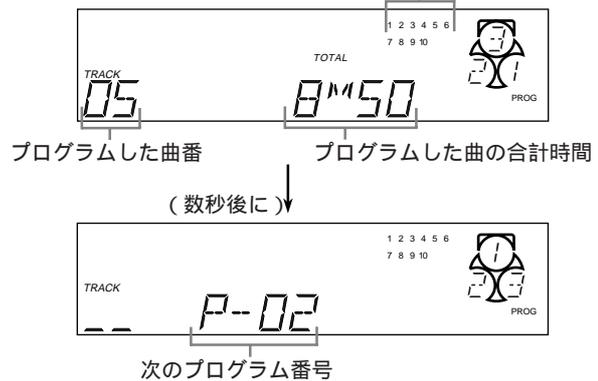
プログラムする曲は、3枚のディスクから選べます。

### ご注意

プログラム操作は、リモコンで停止中にのみ行えます。

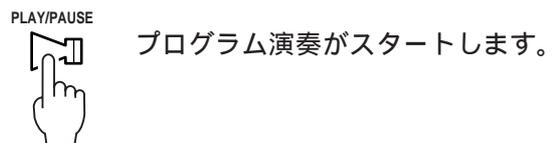


プログラムした曲番が点灯し、  
残りの曲番が点滅します。

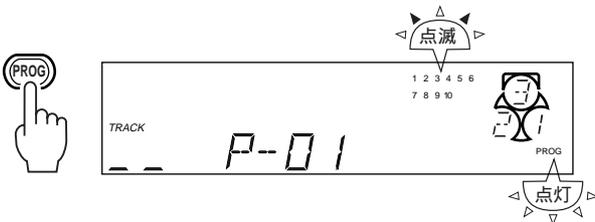


**4** 手順 2、3 をくり返して好きな曲  
をプログラムする  
(20曲まで選べます)

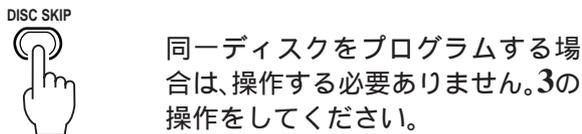
**5** **PLAY/PAUSE** ボタンを押  
す



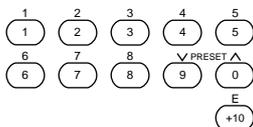
**1** 停止中に、<sup>プログラム</sup>PROG ボタンを押す



**2** DISC SKIP ボタンでディスク  
を選ぶ



**3** 番号ボタンで曲番を選ぶ



番号ボタンの使いかたは、21ページの「曲番を指定して聞くには」を見てください。

### プログラムの確認 / 訂正

1. 停止中に、<sup>プログラム</sup>PROG ボタンを押す  
プログラムセット中は、PROG ボタンを押す必要はありません。2以降の操作をしてください。
2. スキップボタン ( または ) を押す  
押すごとにプログラムした曲が順次表示され、プログラムを確認できます。
3. プログラムを訂正したいとき  
訂正したいプログラムを表示させ、正しいディスク番号・曲番をDISC SKIPと番号ボタンで選びます。

### プログラムの解除

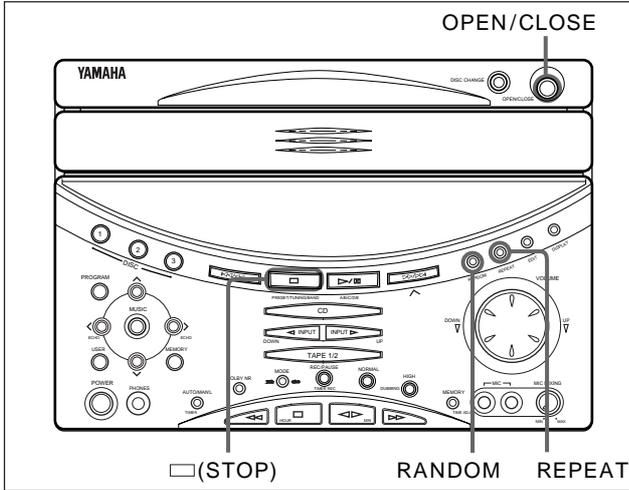
停止中に <sup>ストップ</sup> STOP ボタンを押す  
プログラムされた内容はすべて解除されます。またトレイを開けたり電源を切ると同様に解除されます。

### メモ

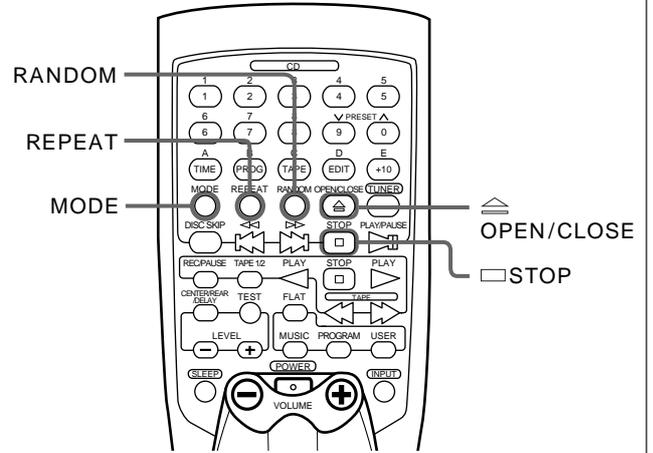
スキップボタンでプログラムした曲の自動頭出し (22ページ) ができます。  
スピードサーチ (22ページ) を行うと、プログラムしていない曲も含めて演奏中のディスクのすべての曲をサーチします。

# CDを聞くには

## 順不同で聞くには (ランダム演奏)



## くり返し聞くには (くり返し演奏)

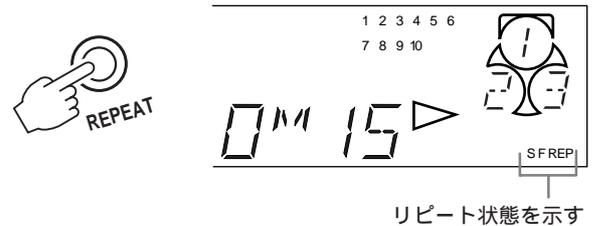


CDを聞くには

### ランダム RANDOMボタンを押す



### リピート REPEATボタンを押す



全ディスクのランダム演奏をしたい場合は、リモコンのMODE ボタンでオールディスクモード(20ページ)を設定してからRANDOMボタンを押してください。

- シングルディスクモード: 1枚のディスクをランダム演奏
- オールディスクモード: 全ディスクをランダム演奏

#### ご注意

プログラム選曲が解除されていないと、ランダム演奏はできません。

### 解除のしかた

□STOPまたはRANDOMボタンを押します。また、OPEN/CLOSEボタンを押してトレイを開けると解除されます。

ボタンを押すごとに、次のように切り換わります。

#### シングルリピート(1曲): S REP

演奏中の曲を繰り返し演奏します。

#### フルリピート(全曲): F REP

シングルディスクモードのときは1枚のディスク内のすべての曲を繰り返し演奏します。

オールディスクモードのときは3枚のディスク内のすべての曲を繰り返し演奏します。

#### リピート解除: 消灯

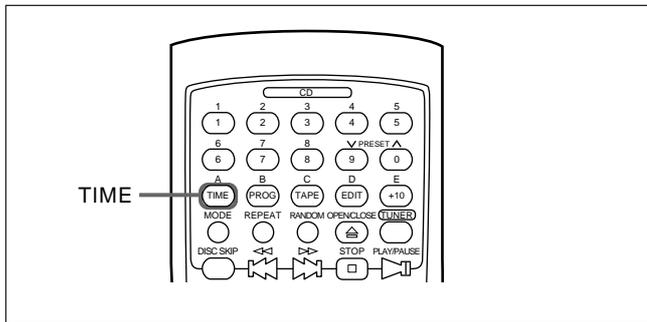
#### メモ

プログラム演奏・ランダム演奏もくり返し演奏できません。

#### ご注意

CDエディット(42~45ページ)のリピートはできません。

## 演奏時間の表示を切り換えるには



タイム

### リモコンのTIMEボタンを押す

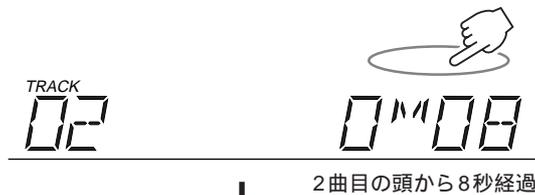


時間表示の内容を示す

ボタンを押すごとに、次のように切り換わります。

例) 2曲目を演奏しているとき

曲ごとの演奏経過時間(表示は消灯)



2曲目の頭から8秒経過

曲ごとの残り時間( REM表示 )



2曲目の終わりまであと2分58秒

総演奏時間( TOTAL表示 )



通常はディスクの総演奏時間を示します。プログラム演奏時はプログラムした曲の総演奏時間を示します。

総残り時間( TOTAL REM表示 )



CDの終わり、またはプログラムの終わりまであと41分です。

ランダム演奏中は、総残り時間の表示はしません。

CDによっては、ジャケットなどに記載されている演奏時間に、曲間部の時間が含まれていないため、表示内容が合わないことがあります。

16曲以上入ったCDでは、次のような場合は時間表示されません。

16曲目以降を演奏中に、残り時間に切り換えた場合。

16曲目以降の曲番をプログラムした場合。

プログラム選曲の総演奏時間が100分を超えた場合、3桁目の表示はしません。

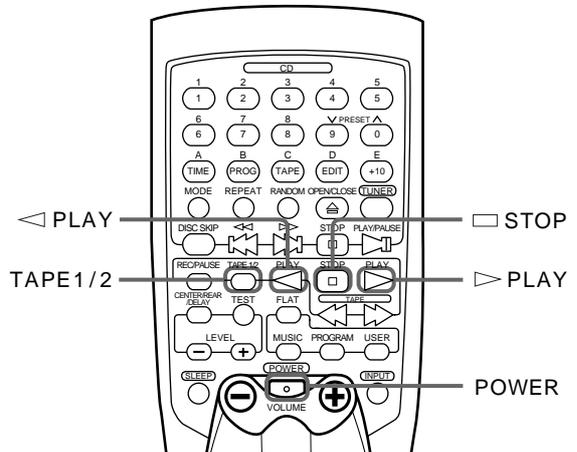
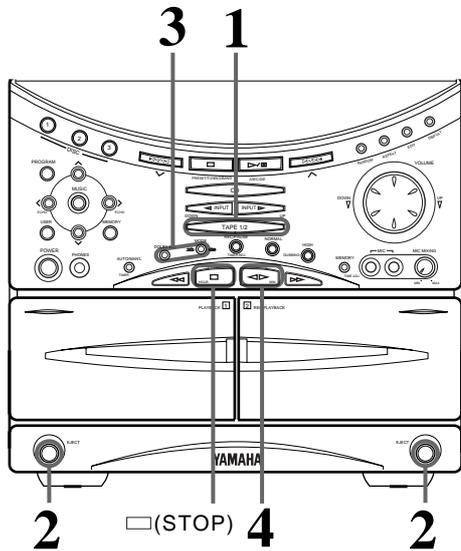
プログラム設定中にTIMEボタンを押すと、プログラムの総演奏時間を一旦表示します。

テーププログラム設定中に、TIMEボタンを押すと、設定したテープの長さ(片面)に対する残量時間を一旦表示します。

# テープを聞くには

## ふつうに聞くには

デッキ1、デッキ2のどちらでも再生できます。



テープを聞くには

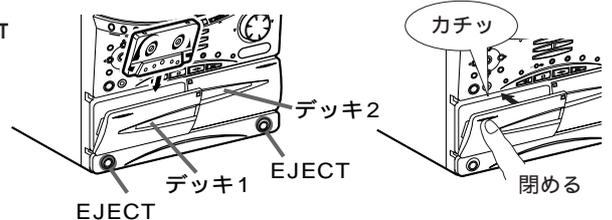
### 1 デッキを選ぶ

テープ  
TAPES 1/2ボタンで切り替える  
TAPESの文字が右にスクロールして(流れて)消えます。



### 2 テープを入れる

イジェクト  
テープを入れるデッキ側のEJECTボタンを押し、テープを入れ、フタを閉める  
デッキ1とデッキ2の両方にテープをセットした場合は、再生するデッキのインジケータ(TAPE1または2)が点灯しているかを確認してください。



### 3 DOLBY NR と MODE を選ぶ

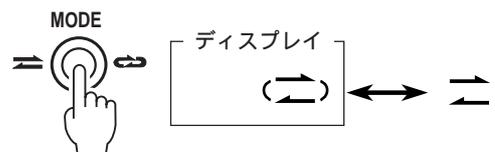
ドルビーノイズリダクション モード  
DOLBY NRボタンを押すたびに、ドルビーBとドルビーNRオフが切り換わる



☐B	ドルビーB NR録音されているテープ
消灯	ドルビーNR録音されていないテープ

ドルビーNRについては、63ページを参照してください。

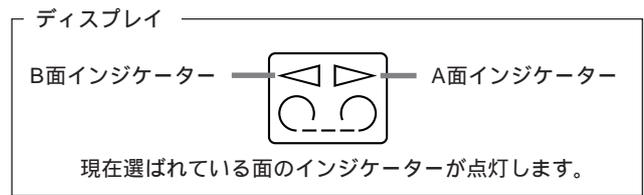
MODEボタンを押すたびに、二と(二)が切り換わる



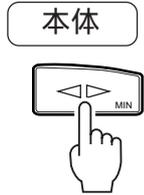
⇨	片面だけを再生するとき
⇨⇨	両面を繰り返して再生するとき (8回で停止します)

## 4 聞きたい面を再生する

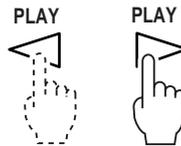
再生面インジケータで再生する面を確認してから本体の◀▶またはリモコンの▶(◀)を押す



再生する面	操作
インジケータと同じ面を再生するとき	1回押し
インジケータの逆の面を再生するとき	1回押しして再生状態にしてからもう1度押し



### リモコン



A面(手前の面)を再生するとき	▶
B面(反対の面)を再生するとき	◀

音量は17ページをごらんの上調整してください。

デッキ1(デッキ2)を再生中に、デッキ2(デッキ1)に切り換えて聞きたい場合は、1~4の操作をしてください。

### テープを止めるには

ストップ

- STOPボタンを押す

再生中に、他のファンクションを選ぶと、テープは自動的に止まります。

### テープカウンターについて

テープの走行量を示します。(時間表示ではありませんのでご注意ください。)

テープカウンター

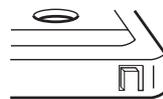
TAPE -- 1 0058

テープカウンターを“0000”に戻すには、停止中に□STOPボタンを押します。

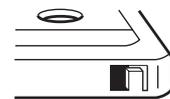
### オートテープセクター機構について

テープの検知孔によって、ノーマルテープ、クロームテープを自動的に判別するようになっています。

ノーマルテープ



クロームテープ



↑  
検知孔

### テープを取り出すときのご注意

- STOPボタンを押して停止状態にしてからEJECTボタンを押し、テープを取り出してください。

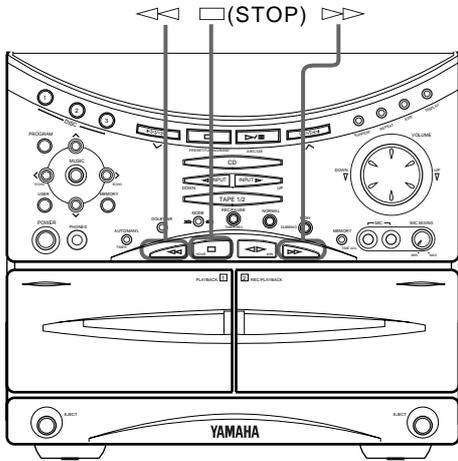
### ワンタッチ再生(ダイレクトプレイ)

テープが入っていれば、電源の入/切にかかわらず、PLAYボタン(本体:◀▶、リモコン:▶または◀)を押すだけでテープ再生が始まります。

電源が切れているときのみ、TAPE 1/2ボタンでデッキを選ぶとワンタッチ再生が始まります。

# テープを聞くには

## テープを早く巻き取るには



停止中に ◀◀ または ▶▶ ボタンを押す

左側の  
リールに  
巻き取るには

右側の  
リールに  
巻き取るには

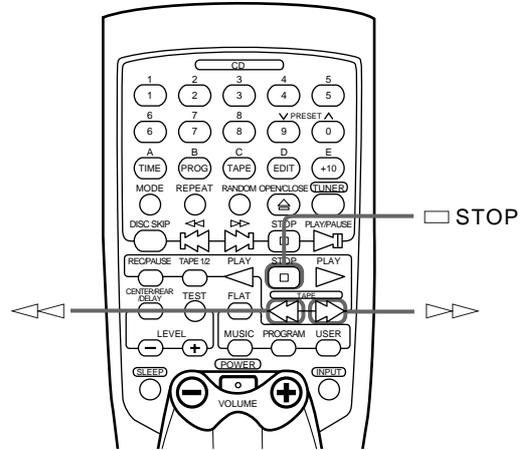
早巻き中は、点線が再生面インジケター ▶ または ◀ の向きにすばやく点滅します。

ストップ  
止めたいところで □ STOP ボタンを押します。

モード  
テープ早巻き中にテープの端まで送ったときは、MODE ボタンの設定にしたがって次のように自動再生します。

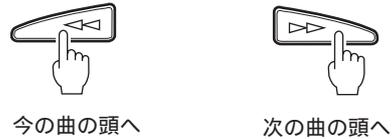
	◀◀ 早巻き中	▶▶ 早巻き中
二	ストップする	ストップする
(◀)	▶ が点灯し、A面(手前の面)を再生する	◀ が点灯し、B面(反対の面)を再生する

## 曲の頭出しをするには (自動頭出し演奏)



再生中に ◀◀ または ▶▶ ボタンを押す

A 面(手前の面)を聞いているとき(▶ が点灯)



B 面(裏の面)を聞いているとき(◀ が点灯)



頭出し中は、再生面インジケター ▶ または ◀ の向きにすばやく点滅します。

次のようなテープを使うと、自動頭出し演奏が正しく動作しないことがあります。

録音レベルが低すぎたり(音が小さい)会話など音声がとぎれているとき。

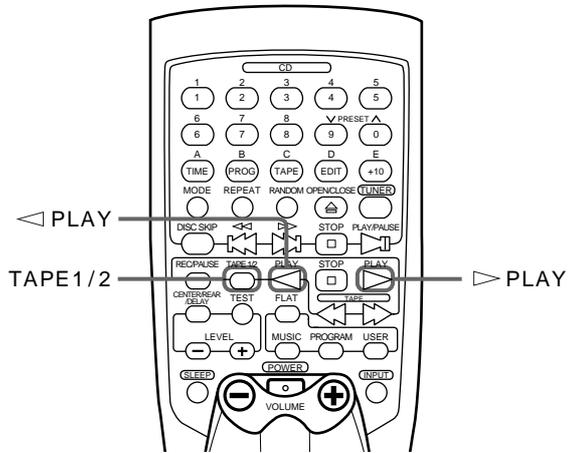
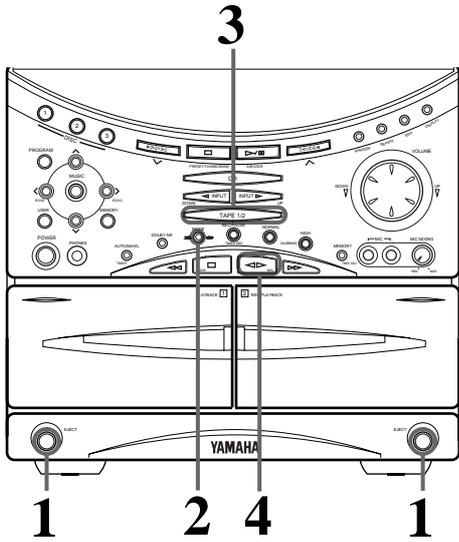
テープの曲間(無音部)が4秒以下のとき。

音が非常に小さい部分が長く続く曲や、演奏や歌声が全く入っていない部分があるとき。

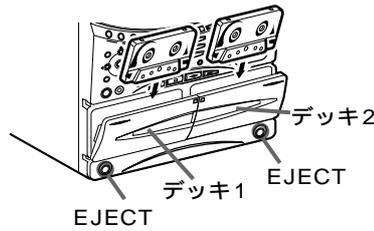
曲間に大きな雑音(ノイズ)が録音されているとき。

曲の始めの部分や終わりの部分で頭出しすると、1つ目の無録音部分でテープが止まらないことがあります。

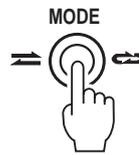
# テープAとテープBを連続して聞くには(連続再生)



## 1 両方のデッキにテープを入れる



## 2 <sup>モード</sup>MODEボタンを押して“”を表示させる “”では連続再生できません。



## 3 TAPE 1/2ボタンで最初に再生するデッキを選ぶ



## 4 再生を始める

本体

	A面インジケータ―▷が点灯しているとき	B面インジケータ―◁が点灯しているとき
A面(手前の面)から再生するには	 1回押す	 1回押して再生状態にしてからもう1度押す
B面(反対の面)から再生するには	 1回押して再生状態にしてからもう1度押す	 1回押す

リモコン

A面(手前の面)から再生するには	
B面(反対の面)から再生するには	

再生を始めるテープ面によって、再生する順序が異なります。

テープ1のA面(手前の面)から再生する		テープ2のB面が8回再生し終わったところで停止します。 デッキ1/2選択が2の場合は、テープ2から再生します。
テープ1のB面(反対の面)から再生する		

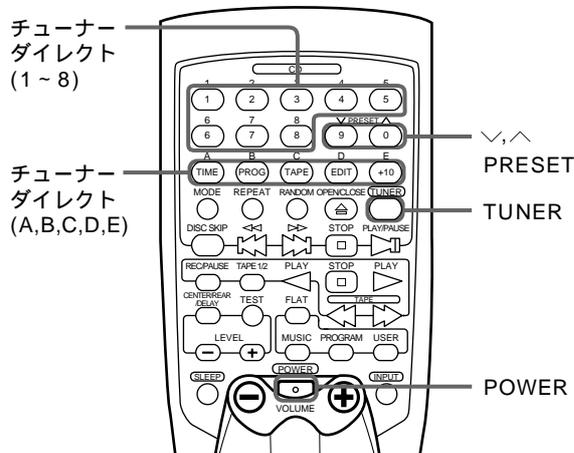
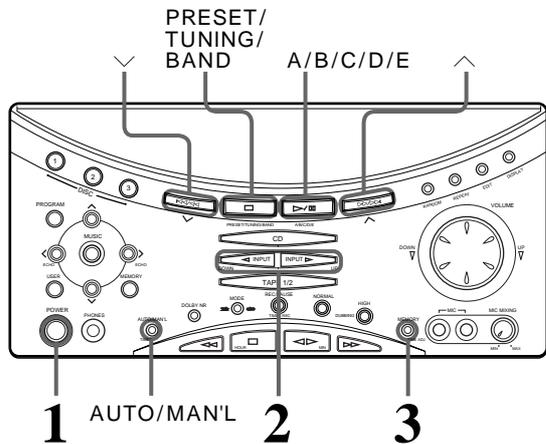
テープを聞くには

# ラジオ放送を聞くには

まず最初に放送局を記憶させます。

A～Eのグループにそれぞれ8局、合計40局記憶(メモリー)することができ、簡単に呼び出すことができます。

## 放送局を記憶させるには(オートメモリー)



ラジオ放送を聞くには

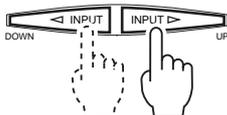
### 1 電源を入れる

パワー  
POWERボタンを押す



### 2 ファンクションをTUNERにする

本体



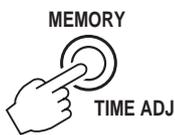
ディスプレイに“TUNER”が表示されるまでINPUTボタンを何回か押す

リモコン

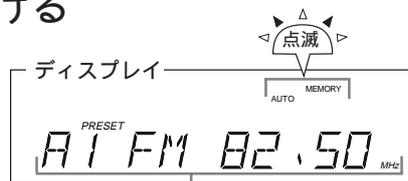


“TUNER”の文字が右にスクロールして(流れて)消え、周波数表示に切り換わります。

### 3 MEMORYボタンを約2秒間押し続ける



オートメモリーが始まります。



FM 82.5 MHzの放送局が“A1”にメモリーされた場合

#### オートメモリー動作について

FMの放送局をA1から順に記憶し、次にテレビ(1ch～3ch)AMの順に放送局を記憶します。周波数の低い方から順番に記憶します。最大40局まで記憶しますが、周囲の妨害電波やテレビの映像周波数も放送局と見なして記憶することがあるので、FM局だけで40局に達してしまうことがあります。このような電波状態でテレビやAM局を記憶するには、次ページのマニュアルメモリーを行ってください。

記憶が終わると、MEMORYの点滅が消えて、最初に記憶された放送局(A1)が聞こえます。(AUTOとTUNEDは点灯します。)グループ内で余ったプリセット番号や、余ったグループのプリセット番号は、そのバンドのスタート周波数(一番低い周波数)を記憶します。放送局を記憶させたあと、もう一度オートメモリーさせると、先に記憶されている局は消えます。

## 手動で記憶させるには (マニュアルメモリー)

オートメモリーで、電波が弱くて記憶されないときや電波が強すぎて周波数がずれるとき、または、記憶内容の一部を変えたいときは、次の操作をしてください。(ボタンの位置については、前ページの本体とリモコンのイラストを参照してください。)

1. <sup>チューナー</sup>ファンクションをTUNERにする。
2. 本体の<sup>プリセット</sup>PRESET/<sup>チューニング</sup>TUNING/<sup>バンド</sup>BANDボタンを何回か押してFMまたはAMを選ぶ。  
“PRESET”が消えていることを確認してください。
3. ∨(ダウン)または∧(アップ)ボタンで希望の放送局を選ぶ。

### 自動同調

<sup>オート</sup>AUTO/<sup>マニュアル</sup>MAN'Lボタンで<sup>オート</sup>AUTOを点灯させる。

∨(ダウン)ボタン: 周波数が下がる方向に放送局を捜し、局があると停止する。

∧(アップ)ボタン: 周波数が上がる方向に放送局を捜し、局があると停止する。

### 手動同調

<sup>オート</sup>AUTO/<sup>マニュアル</sup>MAN'Lボタンで<sup>オート</sup>AUTOを消灯させる。

∨(ダウン)ボタン: 一回押すごとに、1ステップずつ周波数が下がり、押し続けると連続して周波数が下がります。

∧(アップ)ボタン: 一回押すごとに、1ステップずつ周波数が上がり、押し続けると連続して周波数が上がります。

(メモリーしない場合は、これで操作は終わりです。)

4. 本体の<sup>メモリー</sup>MEMORYボタンを押す。  
↓ (5秒以内に)
5. A/B/C/D/Eボタンで記憶させたいグループを選ぶ。  
(リモコンのチューナーダイレクトボタンA~Eも使用できます。)  
↓ (5秒以内に)
6. ∨または∧ボタンで記憶させたい番号を選ぶ。  
(リモコンのチューナーダイレクトボタン1~8も使用できます。)  
↓ (5秒以内に)
7. もう一度、<sup>メモリー</sup>MEMORYボタンを押すと、選んだプリセット番号の所に記憶されます。  
“PRESET”と“MEMORY”の点滅が止まり、“MEMORY”が約1秒点灯し、消えます。

FM放送受信のステレオ/モノラル設定について  
マニュアルメモリーの3でFM放送を自動同調すると、ステレオで受信し、手動同調するとモノラルで受信します。電波の弱い局では、ステレオモードで受信すると雑音が出ることがあります。このような場合は、モノラルモードで受信すると雑音を低減することができます。

AUTO/MAN'Lボタン設定で  
AUTO 点灯 ..... オートステレオ  
AUTO 消灯 ..... 強制モノラル

### メモ

オートメモリーや自動同調しているときに、周囲に妨害電波があると、そこで自動停止することがあります。このようなときは、マニュアルメモリーで記憶させてください。

## テレビ放送を受信するには

次のFM周波数に合わせると、テレビ放送(1~3チャンネル)を受信できます。マニュアルメモリーの操作2でFMを選んで受信します。

チャンネル	周波数
1	95.75MHz
2	101.75MHz
3	107.75MHz

ステレオ放送を受信しても音声はモノラルになります。  
FM放送とテレビ放送では音声レベルが異なります。これは放送局の方式の違いによるものです。  
本機のテレビ受信回路はFM受信回路と兼用しています。このため、地域によってはテレビの2または3チャンネルの音声にFM放送が混信することがあります。

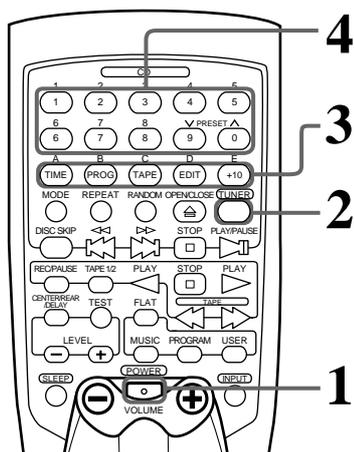
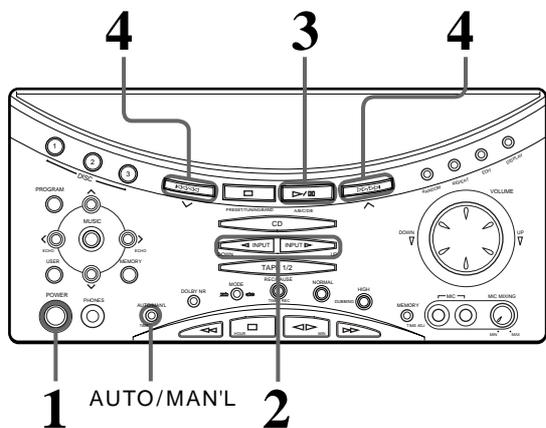
## チューナーの記憶保持について

一週間は電源コードを電源コンセントから外しても、チューナーの記憶内容は消えずに記憶しています。ただし、一週間以上電源コードを電源コンセントから外すと、記憶した内容が消えることがあります。そのときは、再び放送局を記憶させてください。

# ラジオ放送を聞くには

## 記憶した放送局を呼び出すには

あらかじめ、「放送局を記憶させるには」の説明をごらんになり、放送局を記憶させておいてください。  
(記憶させないと、呼び出すことはできません。)



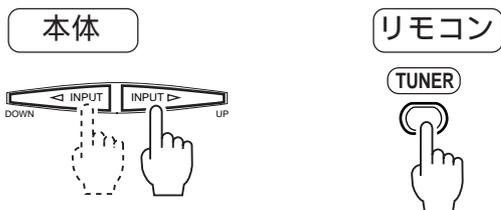
ラジオ放送を聞くには

### 1 電源を入れる

パワー  
POWERボタンを押す



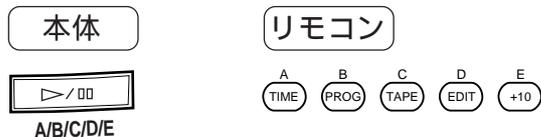
### 2 ファンクションをTUNERにする



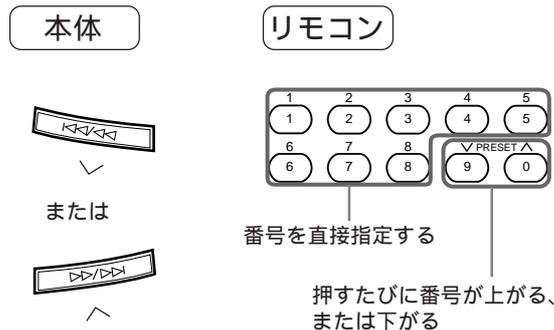
ディスプレイに「TUNER」が表示されるまでINPUTボタンを何回か押す

「TUNER」表示の後、数秒後に最後に聞いていた放送局を受信します。

### 3 記憶させたグループを選ぶ



### 4 記憶させた番号を選ぶ



「A6」にFM 82.5 MHzの放送局が記憶されている場合

音量は17ページをごらんのうえ調整してください。

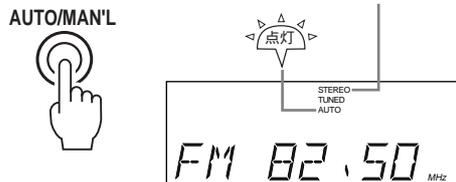
### ご注意

テレビの近くでAM放送を受信すると、AM放送に雑音が入ることがあります。コンピューターやワープロなどのデジタル機器の近くでラジオ放送やテレビ音声を受信すると、雑音が入ることがあります。このようなときは、本機との距離を離してください。

### AM/FMステレオ放送を聞くには

オート マニュアル オート  
AUTO/MAN'Lボタンを押し、AUTOを点灯させる。

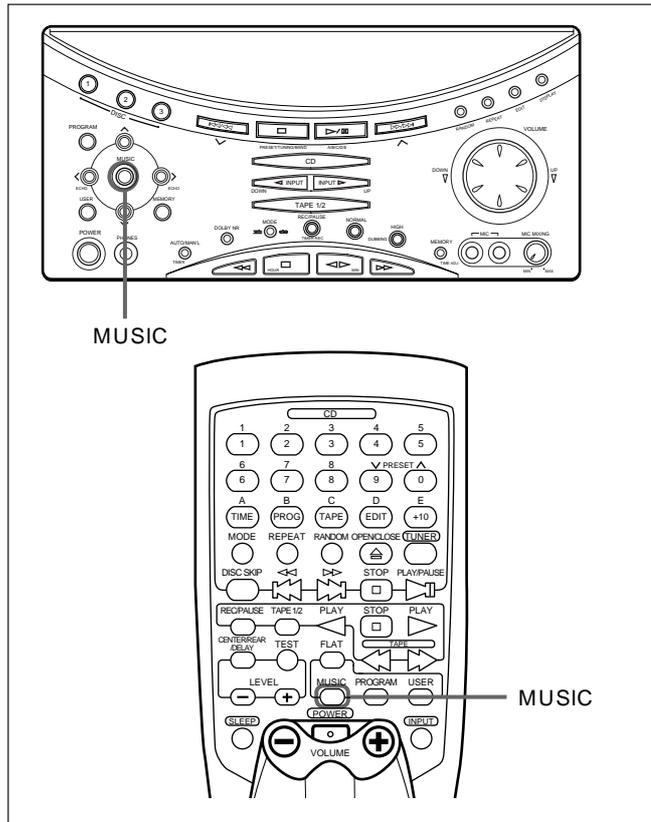
ステレオ放送を受信すると点灯します。  
(電波が弱いと点灯しない場合があります。)



# お好みの音質 / 音場で聞くには

本機は、あらかじめ設定されている音質効果(ミュージックモード)や音場効果(プログラムモード)を呼び出して、その臨場感と効果をお楽しみいただけます。また、音質効果では新たに希望の音質(イコライザーカーブ)をも作ることができ、これらの音質 / 音場効果を組み合わせて、ユーザー登録することができるユーザーモードがあります。

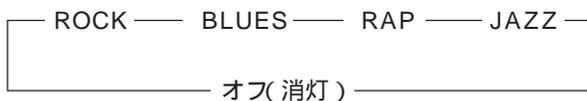
## お好みの音質効果(ミュージックモード)を呼び出すには



### ミュージック MUSICボタンで音質効果を選ぶ



ボタンを押すごとに、次のように切り換わります。



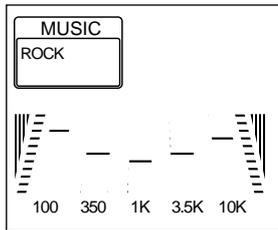
お聞きになる音楽のジャンルに合わせて選んでください。

ミュージックモード	特長
ロック ROCK	低域と高域を強調します。ロック系の迫力のある音楽を聴く場合に適しています。
ブルース BLUES	低域と中域をほどよく強調します。ブルース系の落ち着いた音楽を聴く場合に適しています。
ラップ RAP	低域をほどよく強調します。ラップ系のリズム / ベースを重視した音楽を聴く場合に適しています。
ジャズ JAZZ	中域をほどよく強調します。ジャズ系のアコースティックな音楽を聴く場合に適しています。
オフ(消灯)	ミュージックモードの解除

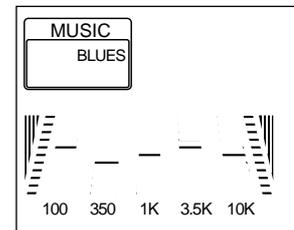
ミュージックモードを選ぶと、モード名とイコライザーカーブを表示します。しばらくすると、イコライザーカーブは通常の表示(スペクトラムアナライザー表示)に戻ります。

### 各ミュージックモードのイコライザーカーブ

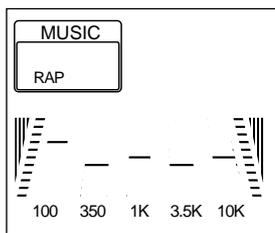
ロック  
ROCK



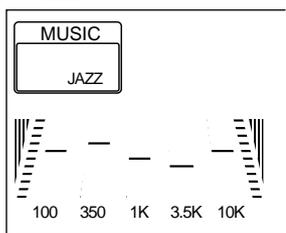
ブルース  
BLUES



ラップ  
RAP



ジャズ  
JAZZ



### メモ

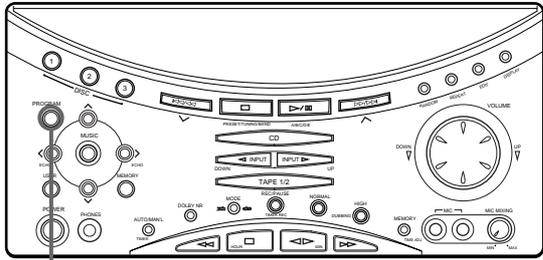
スペクトラムアナライザーとは  
各音域(周波数帯域)の信号レベルの大きさを表します。本機では、ピーク(最大)値が一瞬ホールド(保持)されて表示します。

イコライザーカーブとは  
周波数特性を表します。

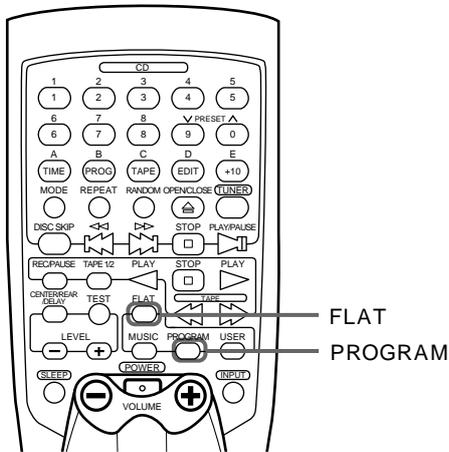
お好みの音質 / 音場で聞くには

# お好みの音質 / 音場で聞くには

## お好みの音場(プログラムモード)を呼び出すには



PROGRAM



FLAT

PROGRAM

プログラム

### PROGRAMボタンで音場を選ぶ

PROGRAM



ディスプレイ



プログラムモードインジケータ

ボタンを押すたびに、次のように切り換わります。



お聞きになるソースの雰囲気や特徴に合った音場を選んでください。

#### メモ

PRO LOGIC、3 STEREOの音場で効果的に再生するには、各スピーカーのレベル合わせが必要です。38ページを見てください。

ドルビープロロジックはドルビーラボラトリーズライセンスングコーポレーションからの実施権に基づき製造されています。ドルビー、PRO LOGIC及びダブルD 記号はドルビーラボラトリーズライセンスングコーポレーションの登録商標です。

プログラムモード	特長
ドルビープロロジック PRO LOGIC	ドルビーサラウンド処理された映像ソフトに適しています。セリフが中央に定位し、サラウンド音は左右と後方から取り巻き、映画館の音場が体験できます。
ドルビースリーステレオ 3 STEREO	ドルビーサラウンド処理された映像ソフトだけでなく、テレビなどのステレオ放送でもセリフが中央に定位するので、左右の音の移動と合わせて自然な一体感が得られます。リアスピーカーから音は出ません。
ホール HALL	力強い響が特徴を持つ、広く奥行きのあるホール効果を演出します。
アリーナ ARENA	高域の反射が多く残響時間の長いホール効果を演出します。
カラオケ KARAOKE カラオケ KARAOKE L カラオケ KARAOKE R	カラオケを楽しむためのモードです。54ページの「カラオケを楽しむには」を見てください。
オフ(消灯)	プログラムモードの解除(音場効果はかかりません。)

プログラムモードを選ぶとモード名を左にスクロールして表示し、通常表示に戻ります。

## 音質/音場効果を入/切するには

音質 / 音場効果をワンタッチで入 / 切できます。

リモコンのFLATボタンを押すたびに切り換わります。

FLAT



FLAT オン: 音質 / 音場効果はかかりません。

FLAT オフ: 音質 / 音場効果が楽しめます。

本体のMUSICボタンとPROGRAMボタンを同時に押すと、音質 / 音場効果は解除されます。(入 / 切はできません)

## 音質 / 音場効果の録音について

本機のカセットテープとMD出力は、カーステレオやラジカセなどの再生用に音質および音場効果をかけて録音することができます。(ただし、センターとリアの音は録音することができません。)

本機で音質 / 音場効果をお楽しみいただくには、効果がかかっていないテープまたはMDを再生し、効果をかけてください。(録音時に効果かけたテープまたはMDの再生はおすすめできません。)

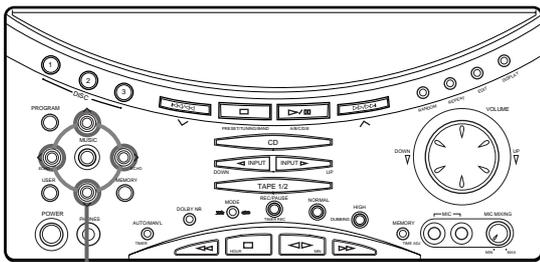
#### ご注意

テープダビングは、テープに録音された音をそのまま録音できますが、音質 / 音場効果を加えてダビングすることはできません。

VCRの出力に音質 / 音場効果を加えて録音することはできません。

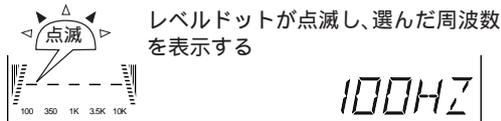
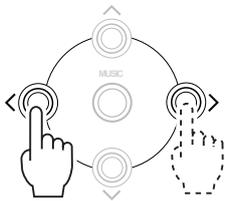
## お好みの音質(イコライザーカーブ)を作るには

音質効果をかけたいソースを聞きながら操作してください。音質の変化がよくわかります。本機にあらかじめ設定してある4つのイコライザーカーブの中から1つを選び、下記の操作で作り返すことができます。(イコライザーカーブの選びかたは、33ページをご覧ください。)



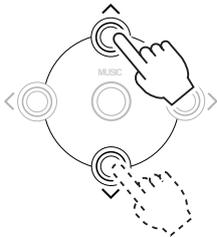
<, >, ^, v

### 1 <または>で調整する周波数帯域を選ぶ



5秒以内に

### 2 ^またはvでレベルを調整する (2dB/1ステップ)



### 3 1~2を繰り返してお好みの音質(イコライザーカーブ)を作る

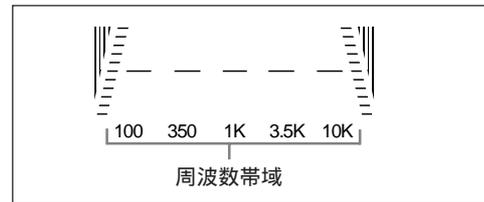
## 4 作った音質をユーザー登録したい場合は、ユーザーメモリーを行う(次ページ)

作った音質は、ミュージックモードのオフの位置に記憶されます。(JAZZの次)

### ご注意

音場(プログラムモード)がKARAOKE、KARAOKE LまたはKARAOKE Rになっていると、イコライザーカーブは作れません。カラオケ以外の音場を選ぶか、音場効果を解除してください。

### 各周波数帯域(音域)の特長



100(Hz): ベースやドラムの音を強め、トロンボーンなどの音にふくらみを与えます。こもった感じの音のときは、この音域のレベルを下げます。

350(Hz): 男性ボーカルにパンチを効かせます。

1K(Hz): 女性ボーカルにハリを与えます。

3.5K(Hz): 弦楽器などに華やかさを与えます。

10K(Hz): フルートなどの音にツヤを与えます。キンキンした感じの音のときは、この音域のレベルを下げます。また、シンバルやトライアングルの音に、繊細な響きを与えます。

### 音質効果の記憶保持について

一度作った音質を再び変更すると、先に作った音質は消え、新たな音質を記憶します。

作った音質またはユーザーメモリーは、一週間以上電源コードを電源コンセントから外すと、記憶した内容が消えることがあります。

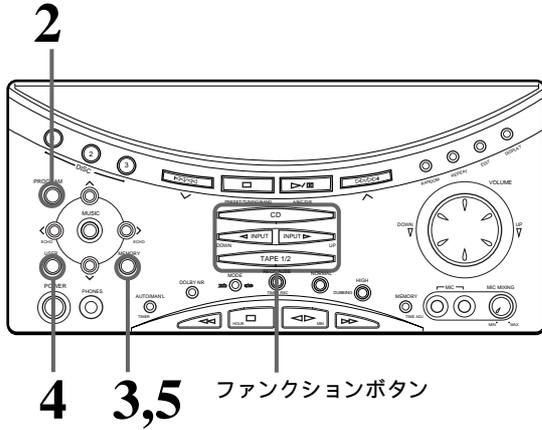
そのときは、再び記憶させてください。

お好みの音質で聞くには

# お好みの音質 / 音場で聞くには

## お好みの音質 / 音場を記憶するには (ユーザーメモリー)

USER1 ~ 4に記憶(登録)できます。

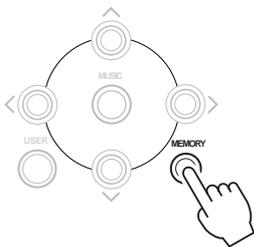


**1** 記憶したい音質を設定する  
前ページの1~3の操作をしてください。  
または、MUSICボタンで音質を選びます。  
(33ページ)

**2** 記憶したい音場を選ぶ

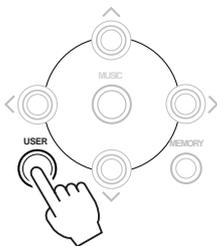


**3** <sup>メモリー</sup> MEMORYボタンを押す



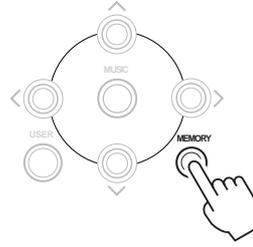
MEMORY、USERナンバー、設定したモード (PROGRAM/MUSIC)、イコライザーカーブ表示が点滅します。

**4** <sup>ユーザー</sup> USERナンバーを選ぶ  
<sup>ユーザー</sup> USERボタンを押して、登録するUSERナンバー (1~4) を点灯させる



<sup>メモリー</sup> 5秒以内に  
**5** MEMORYボタンを押す

設定した音質や音場が、選んだUSERナンバーに記憶(登録)されます。

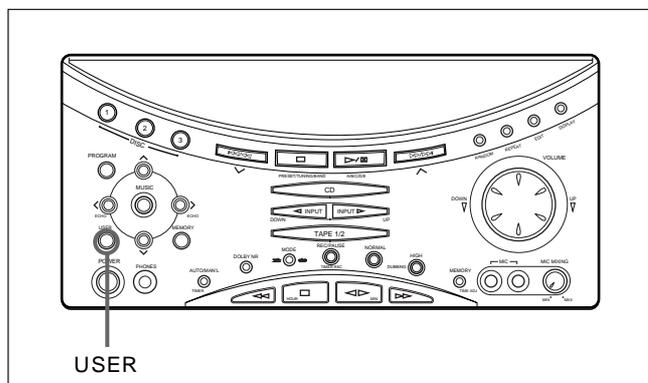


記憶すると、MEMORYの文字が右から左へスクロールします。  
MEMORY表示が消え、他の表示は点滅から点灯に変わります。

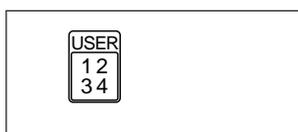
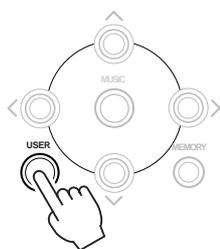
### ご注意

一度記憶したUSERナンバーに、もう一度記憶すると、先に記憶した音質 / 音場は消えます。

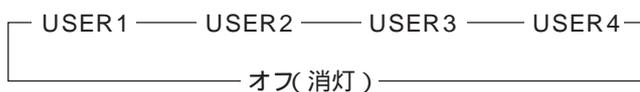
## 記憶(ユーザーメモリー)した音質/音場を呼び出すには



ユーザー  
USERボタンでUSERナンバーを  
選ぶ



ボタンを押すごとに、次のように切り換わります。



お好みの音質/  
音場で聞くには



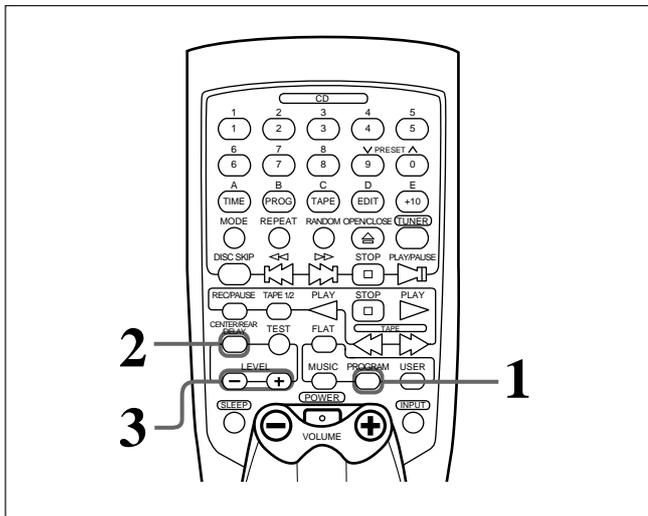
## センター/リアスピーカーの 音量調整

再生音を聞いてさらに調整したい場合は、テストトーンでの音量調節をした後でも調整できます。

1. CENTER/REAR/DELAYボタンを押して、“>CENTER<”または“<<REAR>>”表示にする。
2. LEVEL-または+ボタンで音量を調節する。

## ディレイタイム(遅延時間)の調整

フロントスピーカーの音からリアスピーカーのサラウンド音が始まるまでの時間を調整できます。ディレイタイムの値を大きくするほど、サラウンド音が遅れて聞こえます。音源までの距離感や、空間の大きさ、音のひろがりなどの感じかたを微妙に変えることができます。実際にディレイタイムを変えて音場の変化を体験し、お好みにあったサラウンド感を見つけてください。



### 1 音場(プログラムモード)効果をかけて再生する

PRO LOGIC、HALLまたはAREANAのなかからプログラムモードを選ぶ

PROGRAM



3 STEREO、KARAOKE、KARAOKE L、KARAOKE Rモードではディレイタイムの調整はできません。

### 2 CENTER/REAR/DELAYボタンを何回か押して、“DEL”を表示する

CENTER/REAR  
/DELAY



ディスプレイ

DEL 30ms

### 3 LEVEL-または+を押してディレイタイムを調整する

LEVEL



ディレイタイム

DEL 30ms

選んでいるプログラムモードによって調整できるディレイタイムが異なります。

プログラムモード	ディレイタイム ms(単位:1/1000秒)
<input checked="" type="checkbox"/> PRO LOGIC	15、20、25、30ms
HALL AREANA	15、20、25、30、40、 50ms

#### メモ

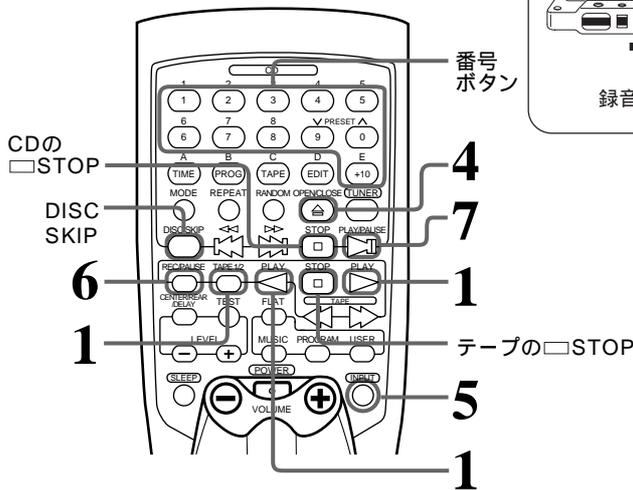
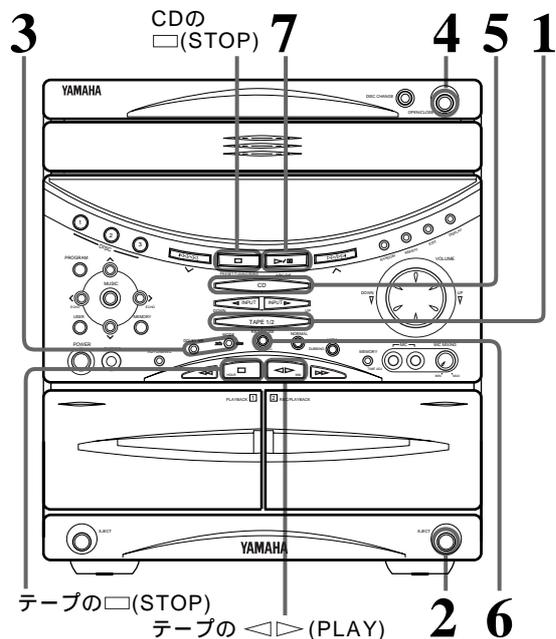
リアスピーカーの音量とディレイタイムは、 PRO LOGIC、HALLまたはAREANAのそれぞれのプログラムモードについて調節できます。

お好みの音質は  
音場で聞くには

# CDを録音するには

## ふつうに録音するには

録音はデッキ2で行ないます。デッキ1では録音できません。

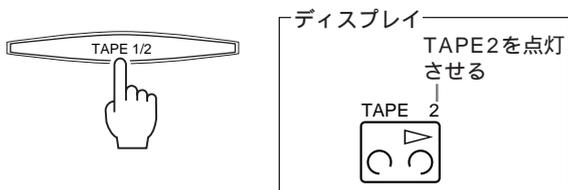


テープの始めの録音できない部分は、あらかじめ巻き取っておいてください。



### 1 デッキ2を選んで、テープの録音する面を選ぶ

テープ  
TAPES 1/2 ボタンを押す

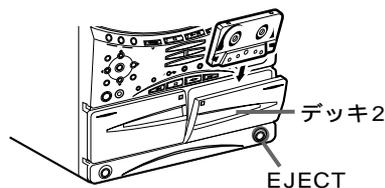


プレイ  
リモコンのPLAYボタンで録音する面を選ぶ



### 2 デッキ2に録音用テープを入れる

イジェクト  
デッキ2側のEJECTボタンを押す



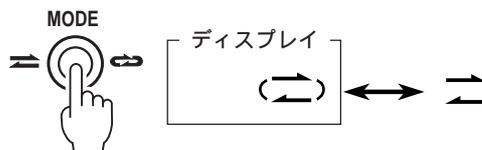
### 3 DOLBY NRとMODEを選ぶ

ドルビーノイズリダクション  
DOLBY NR ボタンを押すたびに、ドルビーBとドルビーNRオフが切り換わる



DOLBY B	ドルビーB NR録音するとき
消灯	ドルビーNR録音しないとき

MODE ボタンを押すたびに、二と(二)が切り換わる

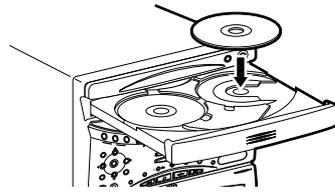


二	片面だけを録音するとき
(二)	両面に録音するとき (A面からB面のみ)

ドルビーNRについては、63ページを参照してください。

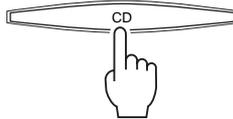
## 4 録音したいCDを入れ、ディスクテーブルを閉める

オープン クローズ  
ディスクトレイの開閉はOPEN/CLOSE  
ボタンを押す



## 5 ファンクションをCDにする

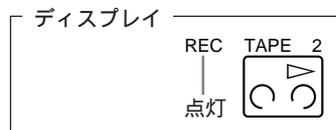
リモコンのINPUTボタンを使う場合は、  
何回か押して、“CD”を表示させます。



CDの文字が右にスクロールして  
(流れて)消えます。

## 6 録音待機状態にする

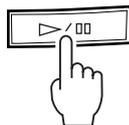
レック ボース  
REC/PAUSEボタンを押す



録音待機状態を解除する  
にはテープの□STOPボ  
タンを押します。

## 7 録音をスタートさせる

プレイ ボース  
CDの▷/00 PLAY/PAUSEボタンを押す



CDの演奏が始まる少し前に、録音が始まります。

### 録音を一時的に止めるには

レック ボース  
REC/PAUSEボタンを押す

テープが止まり録音の待機状態になります。

再び録音を始めたいときは、本体の◀▶ボタンまたはリモコンの▷PLAYボタン(または◀PLAYボタン)を押します。

### CDを変更して録音するには

- 録音中にCDの□STOPボタンを押す。  
約4秒後にテープも止まり、録音の待機状態になります。
- CDを変更して、つぎに録音したい曲を選ぶ。  
CDの変更: リモコンのDISC SKIPボタンを押し、希望のディスクにします。  
選曲: リモコンの番号ボタンを使い選曲します。  
ふたたび録音が始まります。  
選曲は▶▶/◀◀(スキップ)ボタンでもできますが、選曲後、CDの▷/00 PLAY/PAUSEボタンを押してください。

CDをプログラム演奏やランダム演奏の状態にしても、録音することができます。このとき、次の曲の頭出しに4秒以上の時間がかかるときは、テープが自動的に一時停止します。曲の頭を見つけると再び録音が始まります。

### 録音を止めるには

ストップ  
テープの□STOPボタンを押す

CDの演奏を止めるには、CDの□STOPボタンを押す。

#### ご注意

本機ではメタルテープでの録音はできません。大切な録音をされる前に、あらかじめ試し録音で間違いなく録音されることを確かめましょう。万一、本機およびカセットテープなどの不具合により、正常に録音されなかったり、再生できなかった場合、その内容の補償についてはご容赦ください。あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。(63ページ)

#### メモ

録音レベル(音量)は、自動録音レベル(ALC)回路によって、自動的に調整されます。音質効果を加えて録音することができます。(33ページ)

# CDを録音するには CDとデッキの連動した自動編集録音 (CDエディット)

本機は、CDからテープのA面・B面へ自動的に編集録音 (CDエディット) することができます。  
 CDエディットには、次の5種類あります。目的に合わせて使い分けてください。

自動編集録音 (CDエディット) をスタートさせると、自動的にA面側のテープ先頭まで巻き戻して、必ず▷方向から録音を始めます。また、曲の変わるところでは4秒間のスペース (無録音部分) を作って録音します。

### ご注意

CDエディットでの繰り返し (リピート) 録音はできません。

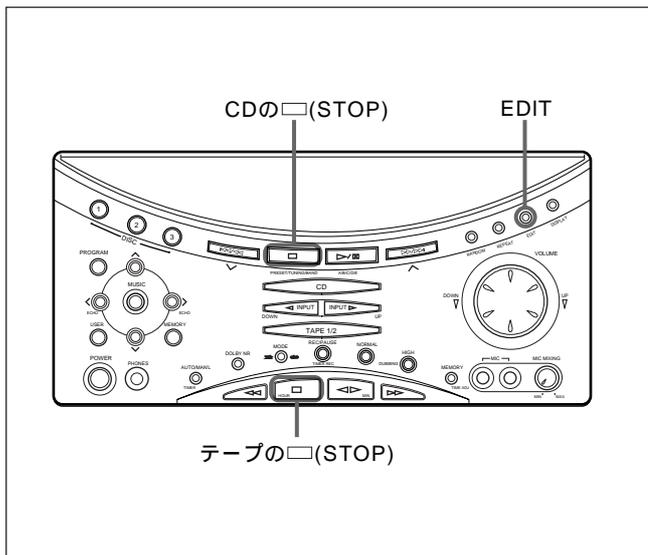
テープの終端付近をフェードアウト録音したい。 (フェードアウト: 徐々に音が小さくなる)		テープ長に合わせて曲切れないように録音したい。 (フェードアウト録音はしません)	
エディット (43ページ)	<p>曲順通りに録音します。</p>	テープエディット (44ページ)	<p>曲順通りに録音します。</p> <p>テープの最後で入りきらない曲があると自動的に余白となります。                  曲数が多い場合、B面の最終曲も曲切れないように余白を作ります。</p>
プログラムエディット (43ページ)	<p>プログラム選曲すれば、お好みの曲順で録音できます。</p>	マニュアルテープエディット (45ページ)	<p>テープ時間に入りきらなくなるまで、曲を自分で選ぶことができます。</p> <p>お好みの曲をどんどん選んでも、本機が残りの時間内に入る曲を教えてくれるので、テープの終わりで曲が途切れる心配がありません。</p>
<p>A面をテープ終端まで一度録音した後、テープを巻き戻してA面の最後の曲を再び録音し直し、テープ終端付近を自動的にフェードアウト録音します。</p> <p>A面でフェードアウトした曲は、B面の頭から再び録音します。</p> <p>曲数が多い場合、B面の終端付近もフェードアウト録音します。</p> <p>全曲録音した場合は、自動的にストップします。</p>		オートテープエディット (45ページ)	<p>テープの余白を少なくなるように自動的にプログラムします。</p> <p>A面に入りきらない曲から録音</p> <p>A面の余白が、少なくなるように自動的に曲の組み合わせをします。                  曲数が多い場合、B面も同様に残った曲で余白が少なくなるように組み合わせをします。</p>

CDを録音するには

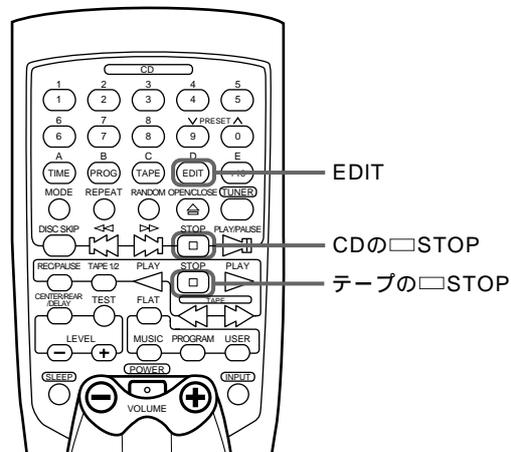
### メモ

テープの長さを指定するテープエディット、マニュアルテープエディット、オートテープエディットでは1枚のディスクにつき15曲目まで選曲できます。

## エディット録音



## プログラムエディット録音



### 1 CDと録音テープを入れて録音の準備をする

40ページの1~5の操作をする。  
40ページの1~5の操作をする。  
デッキのMODEは「(二)」を選んでください。

### 1 CDと録音テープを入れて録音の準備をする

40ページの1~5の操作をする。  
40ページの1~5の操作をする。  
デッキのMODEは「(二)」を選んでください。

### 2 自動編集録音をスタートさせる

エディット  
EDITボタンを押す



テープ長に余裕があっても、CD演奏終了後に録音は停止します。

シングルディスクモードのとき：  
CD1枚で終了  
オールディスクモードのとき：  
ディスク番号3のCDで終了

### 2 プログラム選曲する

23ページの1~4の操作をする。

### 3 自動編集録音をスタートさせる

エディット  
EDITボタンを押す



### 自動編集（エディット） 機能を取り消すには

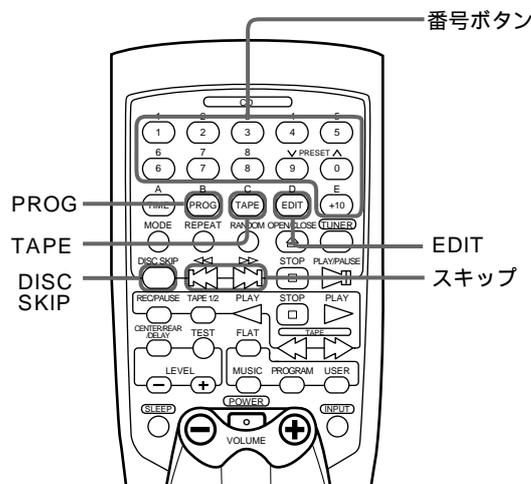
ストップ  
CDの□STOPボタンを押す

録音が始まっている場合には、テープに4秒間の無録音部分を作って終了します。

または  
ストップ  
テープの□STOPボタンを押す

CDも自動的に止まります。

## テープエディット録音



### 1 CDと録音テープを入れて録音の準備をする

40ページの1~5の操作をする。  
モード デッキのMODEは「(二)」を選んでください。

### 3 自動編集録音をスタートさせる

エディット  
 EDITボタンを押す



### 2 テープの長さを選ぶ

リモコンのTテープAPEボタンを押して、録音するテープと同じ長さを選ぶ



C46 C54 C60 C90 解除

C46、C54、C60、C90以外のテープを使うときは、リモコンの番号ボタンを操作して時間を合わせます。

(例) C30のテープを使うとき

C-46、C-54、C-60、C-90のいずれかが表示されているときに (+10) (+10) (+10) (0) と押します。

( (3) (0) と押しても同じです。)

すでにプログラム選曲されている場合、テープの長さを設定できません。そのときは一度CDの□STOPボタンを押してプログラム選曲を解除してください。

テープの録音時間は、ケースやカセット面に表示されている時間よりも多少長めに作られています。そのため、テープの長さを指定しても、テープが余るときがあります。

## マニュアルテープエディット録音

ボタンの位置は前ページのリモコンを見てください。  
1枚のディスクにつき、曲番15まで選曲できます。  
16曲目以降はできませんのでご注意ください。

### 1 前ページの1~2を行なう

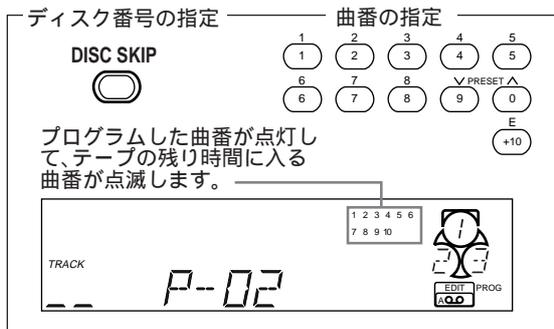
CDと録音テープを入れて録音の準備をします。  
テープの長さを指定します。

### 2 A面に録音する曲を選ぶ

プログラム  
PROGRAM  
PROGボタンを押す



次にA面へ録音したい曲を選ぶ



A面のプログラム選曲が終わったら、次の3の操作を行なってください。

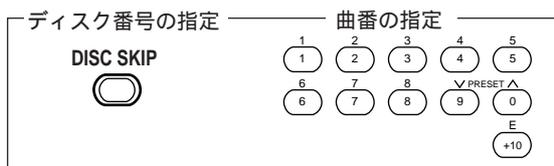
### 3 B面の録音曲を選ぶ

テープ  
TAPEボタンを押す

一旦“PU SET”表示します。  
エディット表示が○●Bに  
変わります。



次にB面へ録音したい曲を選ぶ



B面のプログラム選曲が終わったら、次の4の操作を行なってください。

### 4 自動編集録音をスタートさせる

エディット  
EDITボタンを押す



## オートテープエディット録音

ボタンの位置は前ページのリモコンを見てください。

### 1 前ページの1~2を行なう

CDと録音テープを入れて録音の準備をします。  
テープの長さを指定します。

### 2 自動選曲をスタートさせる

プログラム  
PROGRAM  
PROGボタンを押す



テープ  
次にTAPEボタンを押す



1枚のCD内の曲を設定したテープ長に合わせてA面・B面に自動選曲を行います。

A面の自動選曲中は、“AP-A>”表示、B面の自動選曲中は、“AP-B>”表示します。

1曲目が優先して録音されます。

### 3 自動編集録音をスタートさせる

エディット  
EDITボタンを押す



## プログラムの確認 / 訂正

プログラムエディット / マニュアルテープエディット / オートテープエディット録音は、プログラムの確認および訂正ができます。

自動編集録音をスタートさせる前に次の操作をしてください。

1. スキップボタン(▶▶または◀◀)を押すごとにプログラムした曲が順次表示され、プログラムを確認できます。
2. プログラムを訂正するときは、訂正したいプログラムを表示させ、正しいディスク番号・曲番をDISC SKIPと番号ボタンで選びます。

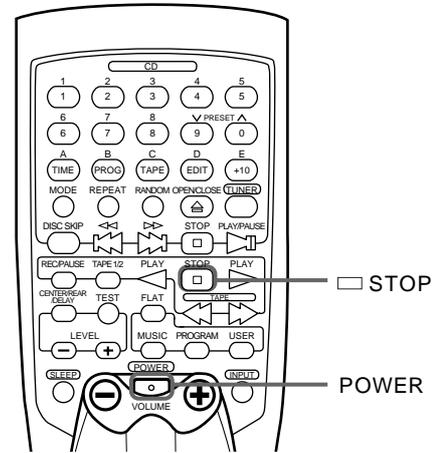
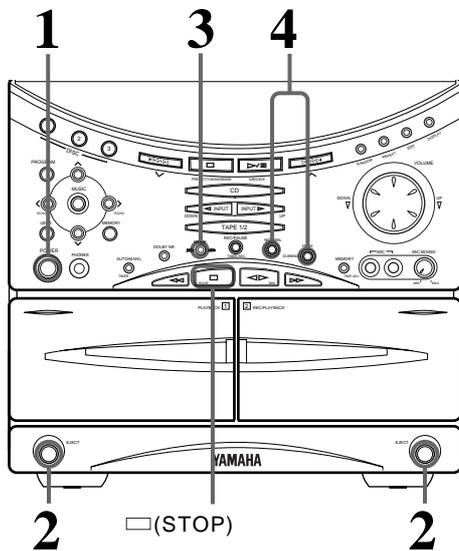
#### ご注意

“TM OVER (タイムオーバー)”と表示される場合は、テープの残り時間内に入り切らない曲をプログラム選曲したことを表わしています。

# テープダビングするには

テープダビングでは、音質や音場の設定、DOLBY NRの設定は録音に影響しません。  
テープ1に録音されている音そのまま同じレベルでテープ2に録音されます。

他のソースを聞きながら、ダビングができます。



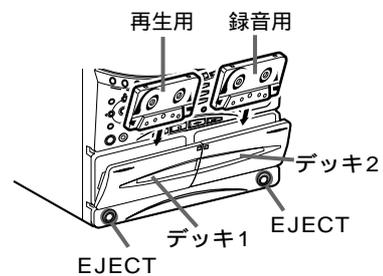
## 1 電源を入れる

パワー  
POWERボタンを押す



## 2 再生用と録音用のテープを入れる

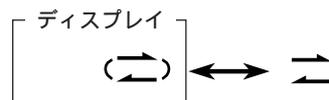
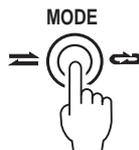
デッキ1側とデッキ2側のEJECT  
ボタンを押す



両面に続けてダビングするときは、同じ長さのテープを使うことをおすすめします。  
どちらか一方のテープが先に終わると、自動的にテープダビングは終了します。

## 3 モード MODEを選ぶ

MODEボタンを押すたびに、二と(二)が切り換わる



二	A面(手前の面)だけをダビングするとき
(二)	A面(手前の面)、B面(反対の面)をダビングするとき

## 4 テープダビングをスタートさせる



ノーマル NORMAL	通常の速さでダビング
ハイ HIGH	約2倍の速さでダビング

テープのA面(手前の面)からダビングが始まります。

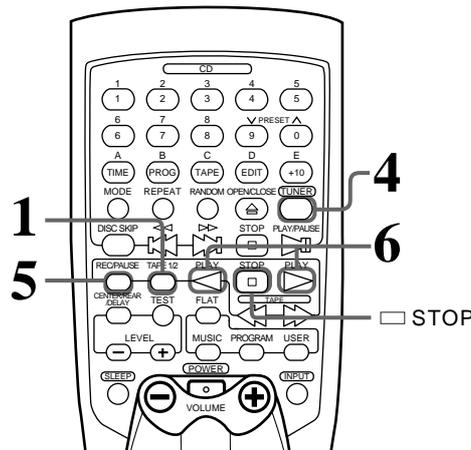
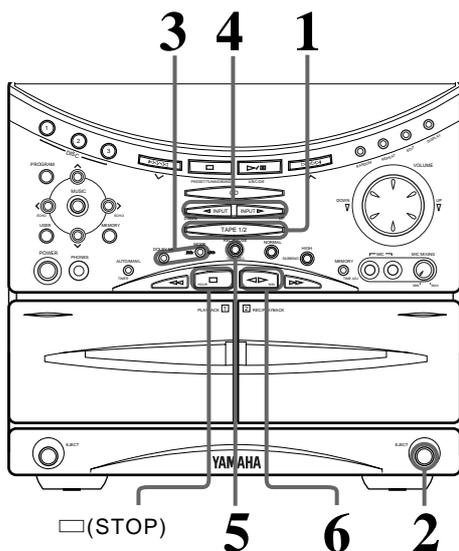
### ダビングしている音をモニターするには

TAPE 1/2ボタンを押してファンクションをTAPEにする

### テープダビングを止めるには

ストップ  
□STOPボタンを押す  
デッキ1とデッキ2が同時に止まります。

# ラジオ放送を録音するには

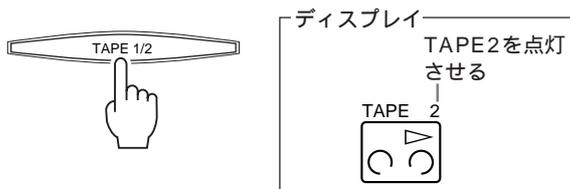


テープの始めの録音できない部分は、あらかじめ巻き取っておいてください。

録音できない部分

## 1 デッキ2を選んで、テープの録音する面を選ぶ

テープ  
TAPES 1/2 ボタンを押す



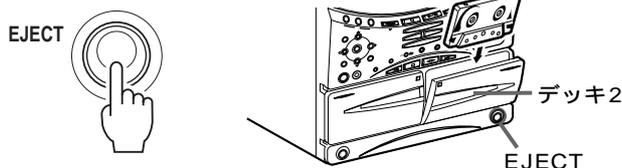
プレイ  
リモコンのPLAYボタンで録音する面を選ぶ



両面に続けて録音するときは、A面から始めます。(B面から始めてもA面には切り換わりません。)

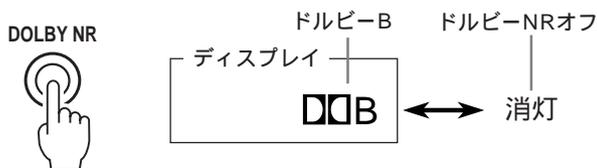
## 2 デッキ2に録音用テープを入れる

イジェクト  
デッキ2側のEJECTボタンを押す



## 3 DOLBY NRとMODEを選ぶ

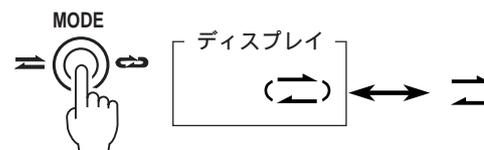
ドルビーノイズリダクション モード  
DOLBY NRボタンを押すたびに、ドルビーBとドルビーNRオフが切り換わる



DOLBY NR	ドルビーB NR録音するとき
消灯	ドルビーNR録音しないとき

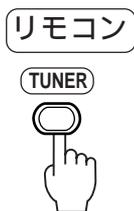
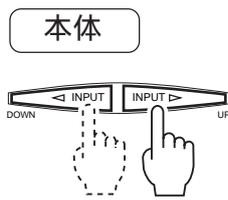
ドルビーNRについては、63ページを参照してください。

MODEボタンを押すたびに、二と(二)が切り換わる



二	片面だけを録音するとき
(二)	両面に録音するとき (A面からB面のみ)

## 4 ファンクションをTUNERにする

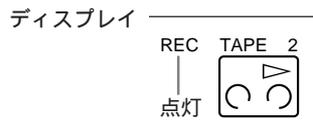


録音するラジオ放送局を受信する( 32ページ)



## 5 録音待機状態にする

レック ボース  
REC/PAUSEボタンを押す



録音待機状態を解除するにはテープの□STOPボタンを押します。

## 6 録音をスタートさせる

本体の◀▶ボタンを押す



リモコンの▶PLAY(または◀PLAY)ボタンでも録音を始めることができますが、その場合は、テープ面インジケータ▶(または◀)と同じ方向のPLAYボタンを押してください。

### 録音を一時的に止めるには

レック ボース  
REC/PAUSEボタンを押す

テープが止まり録音の待機状態になります。

再び録音を始めたいときは、本体の◀▶ボタンまたはリモコンの▶PLAYボタン(または◀PLAYボタン)を押します。

### 録音を止めるには

ストップ  
□STOPボタンを押す

### ビートノイズを減らすには

AM放送を録音すると、ピーツというビート音が聞こえることがあります。このような場合は、録音中にリモコンのTUNERボタンを押してビートキャンセル1(B.C-1を表示)またはビートキャンセル2(B.C-2を表示)のビート音の少ないモードを選んでください。

チューナーの録音中以外は、通常のTUNERボタンとしてはたきません。

### ご注意

本機ではメタルテープでの録音はできません。

### メモ

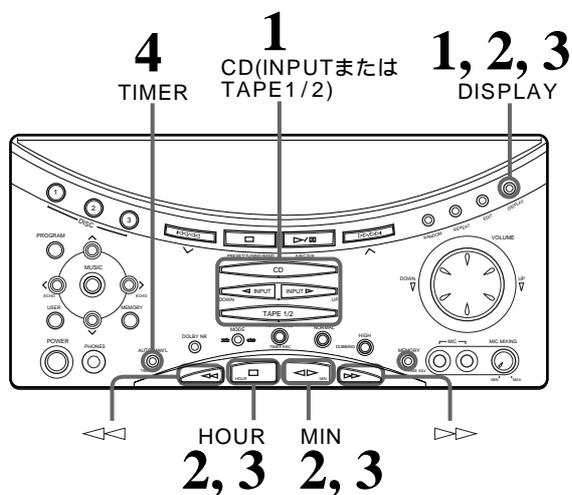
録音レベル(音量)は、自動録音レベル(ALC)回路によって、自動的に調整されます。音質効果を加えて録音することができます。( 33ページ)

### 録音されたテープの音を消すには

1. 消したいテープをデッキ2に入れる。
2. ファンクションをMD/AUX、LD/TVまたはVCRのどれか、使用していないファンクションにする。
3. モード  
MODEを選ぶ。
4. レック ボース  
REC/PAUSEボタンを押す。
5. 消したい面のリモコンのPLAYボタンを押す。

# タイマーを使うには

タイマー時刻を設定する前に、現在の時刻が合っているか、確かめてください。(15ページ)



DISPLAYボタンを押すごとに、次のように表示が切り換わります。(タイマー設定で頻繁に使うボタンです。よくお読みください。)

各設定表示は、約8秒間何も設定しないと自動的に次の表示に移ります。

電源が切れているとき

時計表示  
ファンクション設定表示  
ON TIME 設定表示  
OFF TIME 設定表示

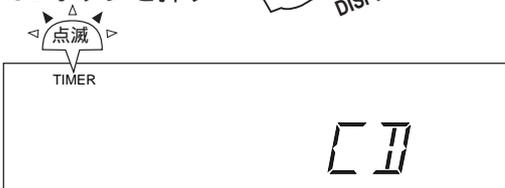
電源が入っているとき

ファンクション表示  
(現在再生しているソース)  
(約7秒間)  
時計表示  
ファンクション設定表示  
(タイマー動作で再生するソース)  
ON TIME 設定表示  
OFF TIME 設定表示

## タイマー再生をするには (例えば、朝CDを聞いて起きたい場合)

### 1 ファンクション設定表示にしてファンクションを決める

DISPLAYボタンでファンクション設定表示にして、CDボタンを押す



#### 1の操作を始める前の準備

あらかじめCDをディスクトレイに入れる(18ページ)  
TAPEの場合はテープをデッキに入れ、TAPE 1または2を選ぶ(26ページ)  
TUNERの場合は、ラジオ放送局を受信する(30~32ページ)  
ファンクションをTUNERに設定した後も、記憶してある局の中から本体のA/B/C/D/E/ボタン、^(v)ボタンで選びなおすことができます。)音量を調整しておく

タイマーを使うには

### 2 ON TIME設定表示にして開始時刻を設定する

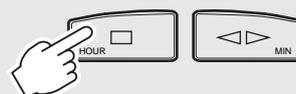


約1秒間'ON TIME'表示して、開始時刻を表示します。

開始時刻または終了時刻の設定のしかた

#### 時の設定

HOURボタンを押すと“時”が進む。戻すには<<を押す。

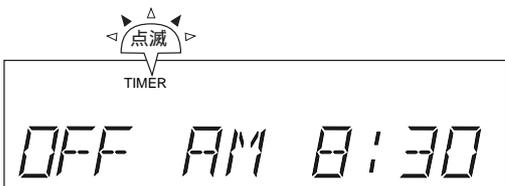


#### 分の設定

MINボタンを押すと“分”が進む。戻すには>>を押す。



### 3 必要ならば終了時刻を設定する



約1秒間'OFF TIME'表示して、終了時刻を表示します。開始時刻を設定すると終了時刻は自動的に1時間後にセットされます。必要に応じて設定してください。

↓ (8秒以内)

## 4 タイマー再生をスタートさせる

### すぐにタイマーをかける場合

タイマー  
TIMERボタンを押す



電源が切れて現在の時計表示になります。

電源が切れるとうすぐ点灯する



設定した時刻がくるとタイマー再生が動作します。

タイマーを中止しないかぎり、毎日設定時刻になると電源が入り、タイマー再生になります。

### あとからタイマーをかける場合

ディスプレイ  
DISPLAYボタンで現在の時計表示にしてから、  
タイマー  
TIMERボタンを押す



電源は入ったままなので、引き続き本機を使えます。その後、電源を切るにはPOWERボタンを押します。

### タイマー設定を確かめるには

ディスプレイ  
DISPLAYボタンを押して、各設定表示を確認してください。

### タイマー動作を中止するには

タイマー  
時計表示のときTIMERボタンを押す  
(TIMER表示は消えます。)

### 演奏中にタイマー開始時刻になると

タイマー設定内容が優先されるので、設定したファンクションに切り換わります。

### ご注意

開始時刻(ON TIME)を変更した場合には、自動的に終了時刻(OFF TIME)を1時間後に変更します。  
必要ならば、OFF TIMEを設定し直してください。

### タイマーの記憶について

タイマー設定した内容は、電源コードを抜いたり停電しても、約5分までは設定した内容を記憶しています。

# タイマーを使うには

## タイマー録音をするには (ラジオ放送を留守録音したい場合)

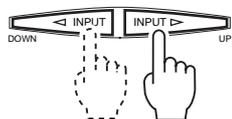
1 あらかじめ、聞きたい放送局を受信し、デッキ2を選んでテープ走行方向を選び、デッキ2に録音用テープを入れる

48ページの1~4を操作する

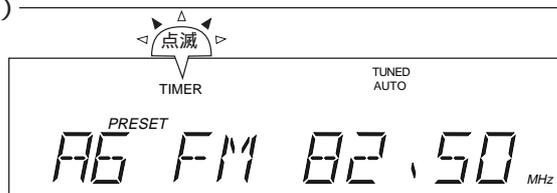
2 ファンクション設定表示にする



3 チューナー TUNER を設定する



↓ (8秒以内)



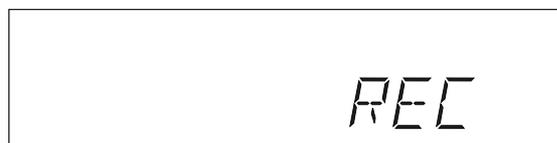
“TUNER”を表示した後、受信周波数を表示します。

このとき、本体のA/B/C/D/Eボタン、^ (∨) ボタンで記憶してある局の中から選びなおすこともできます。  
(32ページの3~4の操作)

4 タイマー レック TIMER REC状態にする

レック TIMER RECボタンを押す

↓ (8秒以内)



TIMER REC状態(モード)を解除する場合は、もう一度TIMER RECボタンを押します。

受信周波数(ファンクション)と“REC”が交互に表示します。  
(約8秒間)

5 開始時刻と終了時刻を設定する

50ページの2~3を操作する

↓ (8秒以内)

6 タイマー録音をスタートさせる。

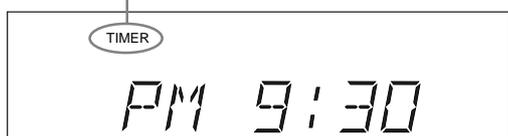
すぐにタイマーをかける場合

タイマー TIMERボタンを押す



電源が切れて現在の時計表示になります。

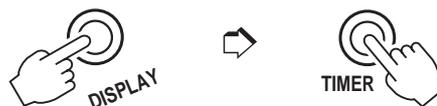
電源が切れるとうすく点灯する



設定した時刻がくるとタイマー録音が動作します。

あとからタイマーをかける場合

ディスプレイ DISPLAYボタンで現在の時計表示にしてから、  
タイマー TIMERボタンを押す



電源は入ったままなので、引き続き本機を使えます。その後、電源を切るにはPOWERボタンを押します。

### タイマー録音のご注意

開始時刻(ON TIME)を変更した場合には、自動的に終了時刻(OFF TIME)を1時間後に変更します。終了時刻を設定し直してください。

タイマー設定の確認、タイマー動作の中止、演奏中にタイマー開始時刻になった場合などについては51ページをごらんください。

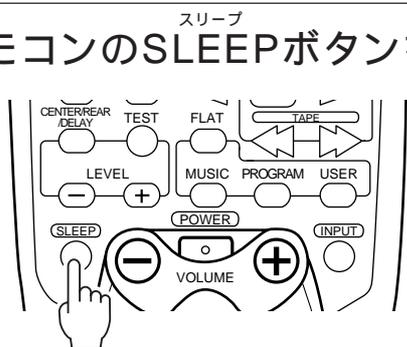
## 聞きながらおやすみになるには(スリープタイマー)

設定した時間が経過すると、電源が切れます。

### 1 聞きながらおやすみになりたいものを操作する

テープ、ラジオ放送、CDを聞きながらおやすみになれます。接続した外部機器ではできません。

### 2 リモコンのSLEEPボタンを押す



スリープ時間は自動的に2時間(2h00m)に設定されます。(約4秒たつとSLEEPボタンを押す前の表示に戻ります。)

#### スリープ時間を変えるには

スリープ SLEEP表示が点滅している間に、SLEEPボタンを押す

押すたびに、 2h00m 1h30m 1h00m 0h30m OFF SLEEP と変わります。

#### スリープ動作中に 残りの時間を確かめるには

スリープ SLEEPボタンを押す

#### スリープ動作中に スリープ時間を変えるには

1. SLEEPボタンを押す。
2. SLEEP表示が点滅しているあいだにSLEEPボタンを押してスリープ時間を選ぶ。

#### スリープ動作を途中でやめるには

スリープ オフ スリープ SLEEPボタンを押して、OFF SLEEP表示にする  
またはPOWERボタンを押して電源を切ります。

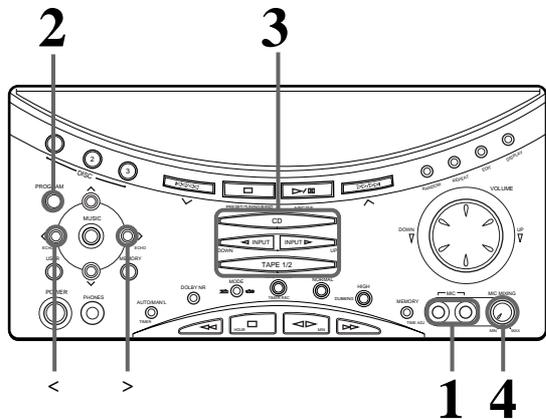
#### スリープタイマーとタイマー再生/タイマー録音 の関係は?

スリープ時間をセットしたあとでも、タイマー再生/タイマー録音の操作をすることができます。この場合は、タイマー再生/タイマー録音の時刻を設定したあと、電源は入れたままにしておきます(51ページの操作4を参照)。スリープタイマーが動作して電源が切れたあと、設定時刻になるとタイマー再生/録音が始まります。ただし、スリープ時間内にタイマー再生/録音の時刻が設定されているとタイマーは動作しないので、注意してください。

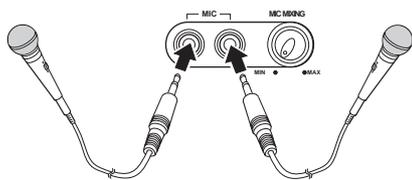
# カラオケを楽しむには

カラオケ用CDやテープだけでなく、ふつうの音楽ソースでもカラオケが楽しめます。

マイクは、ミニプラグ(直径3.5mm)をお使いください。マイクは付属していませんので、お買い上げの販売店でお求めください。



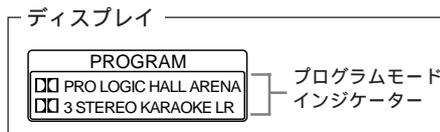
## 1 マイクを接続する



マイク ミキシング  
MIC MIXINGつまみを最小(MIN)の位置にしてから、マイクをMIC端子に接続します。

## 2 プログラム PROGRAMボタンでカラオケモードを選ぶ

PROGRAM



ボタンを押すたびに、次のように切り換わります。



ふつうの音楽CDやテープを使う場合:  
KARAOKEを選ぶ

音声多重カラオケCDまたはテープを使う場合:  
KARAOKE LまたはKARAOKE Rを選ぶ

KARAOKE	歌手の声が小さくなります。
KARAOKE L	左チャンネルの音だけが左右のスピーカーから出ます。歌手の声と演奏が右チャンネルに、演奏だけが左チャンネルに入っているソースでは、演奏だけが聞こえます。
KARAOKE R	右チャンネルの音だけが左右のスピーカーから出ます。歌手の声と演奏が左チャンネルに、演奏だけが右チャンネルに入っているソースでは、演奏だけが聞こえます。

## 3 ファンクションを選び、演奏を始める

## 4 マイクの音量を調節する



マイクからの音声が大きすぎると、音がひずんで聞こえることがあります。

ディスプレイを見て、スペクトラムアナライザーが振り切れないように、MIC MIXINGつまみで調節してください。

マイクをスピーカーに近づけ過ぎると、ピーという音(ハウリング)を出すことがあります。

そのときは、マイクをスピーカーから離すか、マイクの音量を下げてください。

### ご注意

ふつうの音楽CDやテープでKARAOKEモードを選んでも下記のようなソースを使うと、効果が得られないことがあります。

モノラル録音のソース

強いエコーのかかっているソース

歌手の声が中央に位置していないソース

マイク2本で歌っても、声は左右のスピーカーに分かれません。

マイクを2本接続するときは、同じ仕様のマイクをお使いください。

### 録音上のご注意

演奏する機器がテープまたはMDの場合、同一機器では録音できません。(たとえば、テープでのカラオケ演奏はMDなど他の機器で録音してください。)

## エコーをかけるには

プログラムモードのKARAOKE、KARAOKE L、KARAOKE Rが選ばれているとき、本体の<または>ボタン(またはリモコンのLEVEL -、+ボタン)を押すとエコーの調節ができます。

ECHO MIN(最小)からECHO 1~9、ECHO MAX(最大)まで選べます。

エコーをかけたくないときは、<ボタンを押してECHO MINにします。

## マイクを使い終わったら

MIC MIXINGつまみを最小(MIN)の位置に戻してからマイクをMIC端子から抜いてください。

またマイクを使わないときも、MIC MIXINGつまみを最小(MIN)の位置にしておいてください。

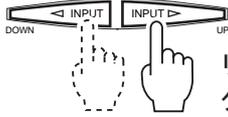
# 他の機器を楽しむには

## 他の機器を本機で聞くには

接続のしかたは、12ページをご覧ください。

他の機器の電源スイッチなどを操作する前に、本機の音量を小さくしてください。

### 1 ファンクションを選ぶ



リモコンのINPUTボタンでも選べます。

MD/AUX、VCRまたはLD/TVを選びます。

### 2 他の機器の再生を始める

他の機器の操作は、その機器の説明書をご覧ください。

#### ご注意

本機の電源を切った状態で、接続した他の機器を再生/録音すると音がひずむことがあります。本機の電源を入れてご使用ください。

ビデオ機器を再生したあと、本機や他のオーディオ機器を再生すると、テレビ画面にはビデオ機器の映像が出たままになります。映像を消すには、ビデオ機器を停止し、テレビの電源を切ってください。

## 他の機器を録音するには

1. ファンクション（MD/AUX、VCRまたはLD/TV）を選ぶ。
2. デッキ2に録音用テープを入れる。
3. ドルビーNR/モードを選ぶ。
4. REC/PAUSEボタンで、録音待機状態にする。
5. 他の機器の演奏を始める。
6. 録音したい面の▷(◁)PLAYボタンを押す。

### 録音を一時的に止めるには

REC/PAUSEボタンを押す。

再び録音を始めるときは、▷(◁)PLAYボタンを押す。

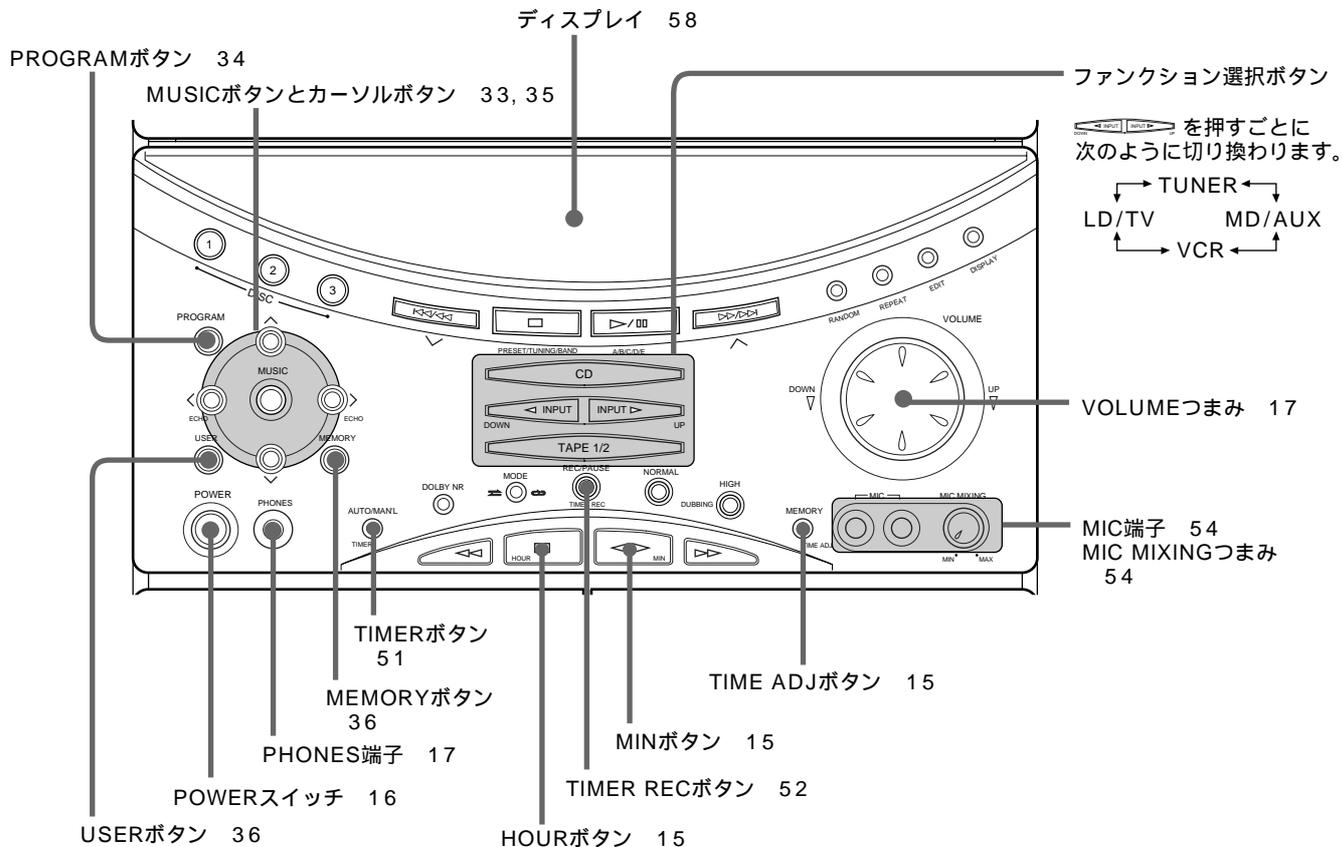
### 録音を止めるには

□STOPボタンを押す。

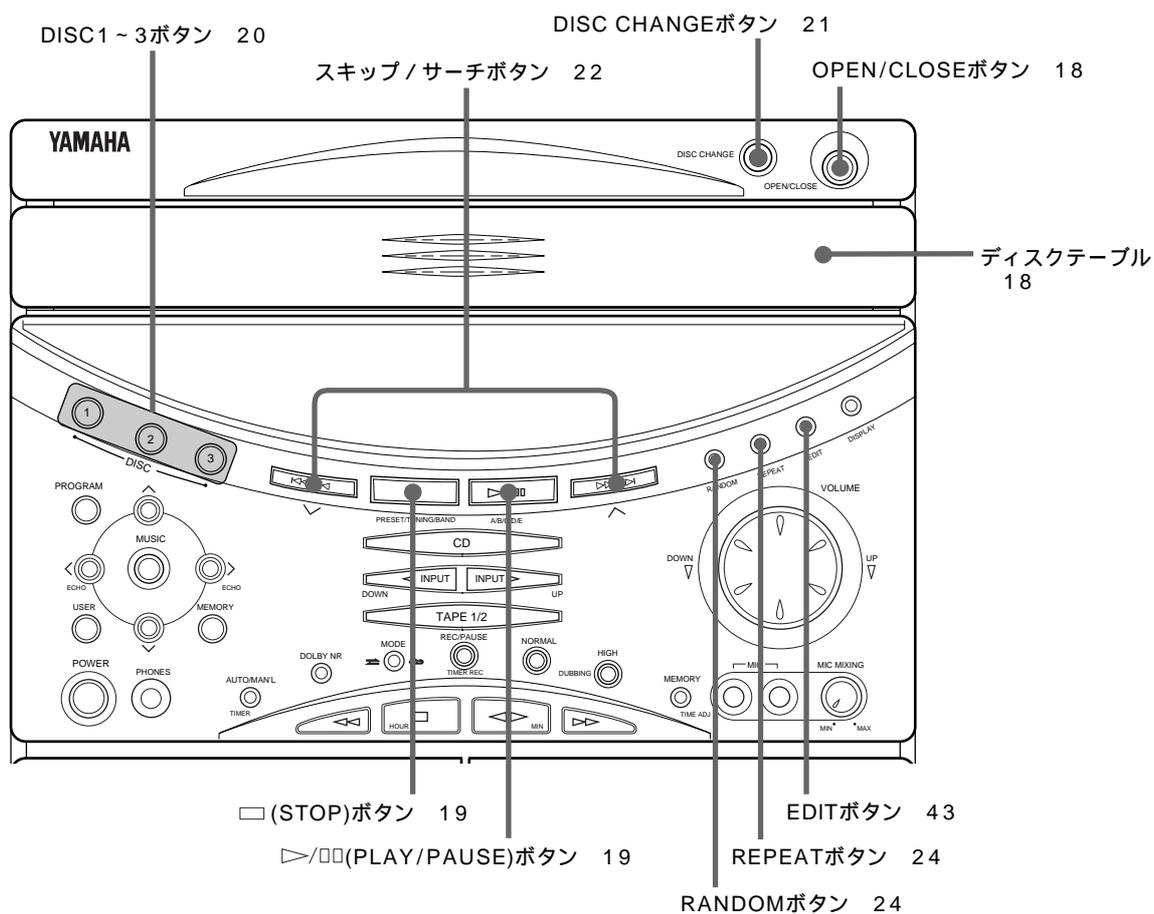
# 各部のなまえ

番号は本文で説明しているおもなページです。

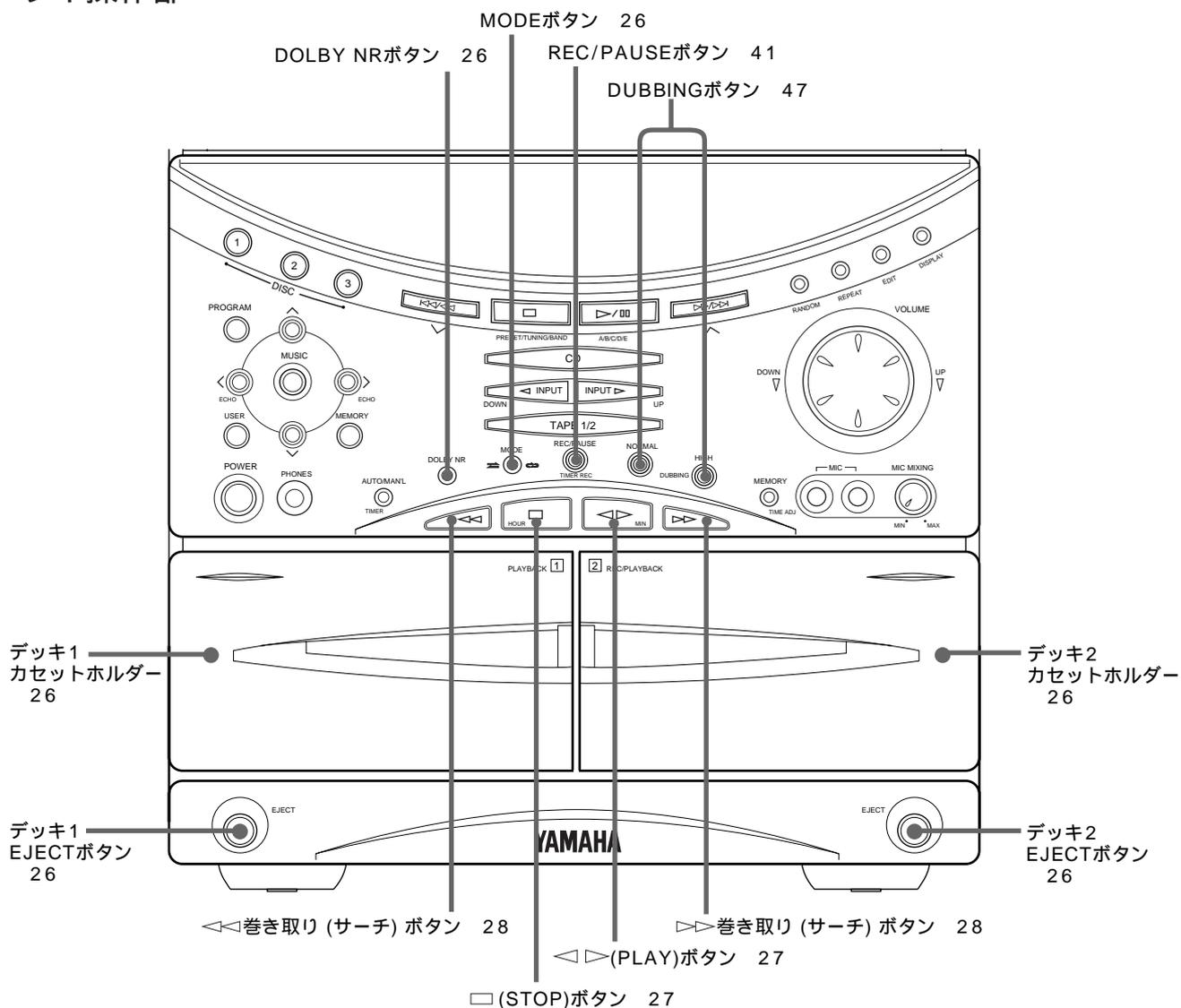
## 電源・時刻(タイマー)音量・音質・カラオケ操作部



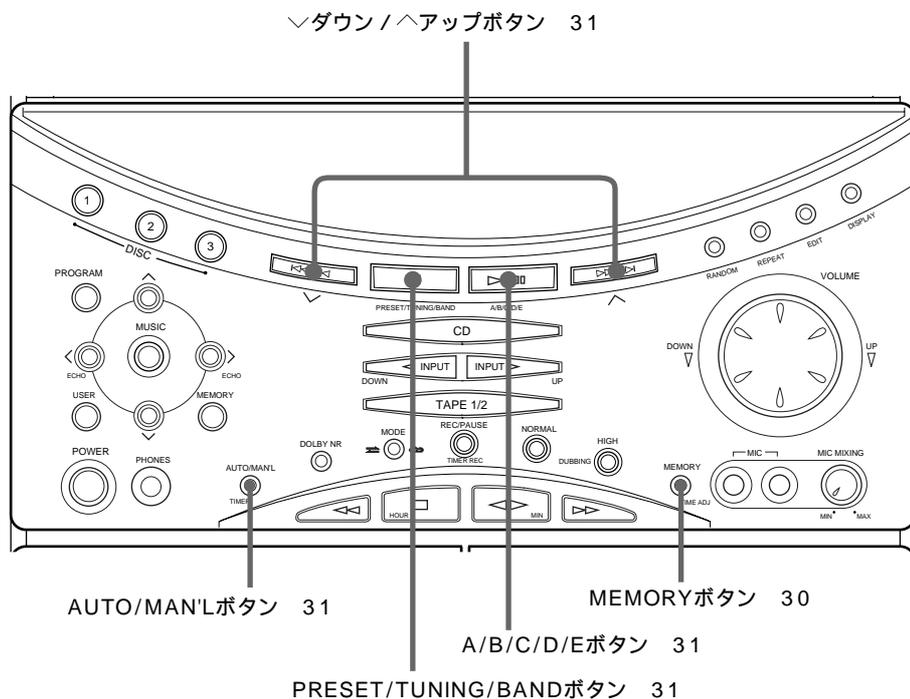
## CD操作部



## デッキ操作部



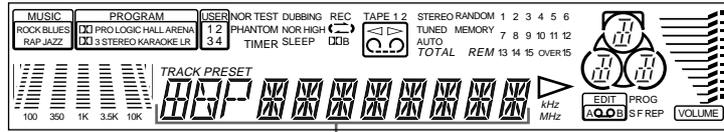
## チューナー操作部



# 各部のなまえ

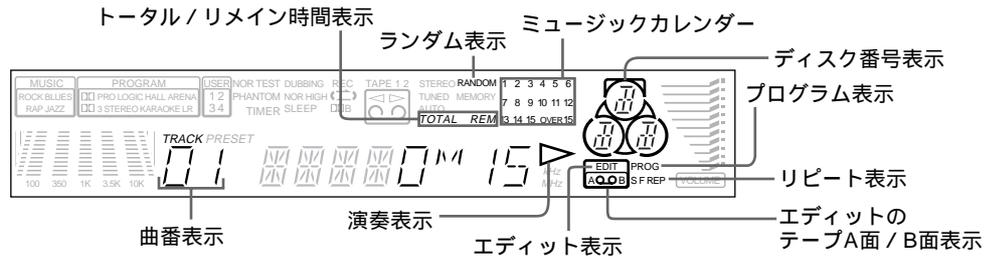
## ディスプレイ

### 全体表示

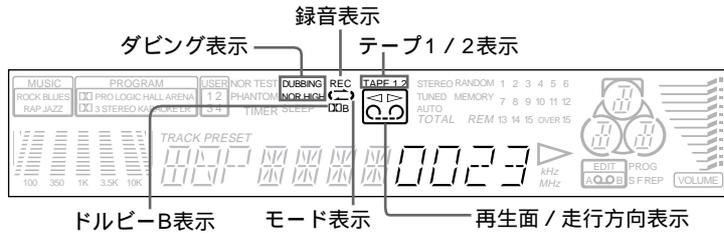


時刻、曲番、周波数、カウンターなど、数値を表示します。  
また、モード名やファンクション名、ボタン操作などを表示します。

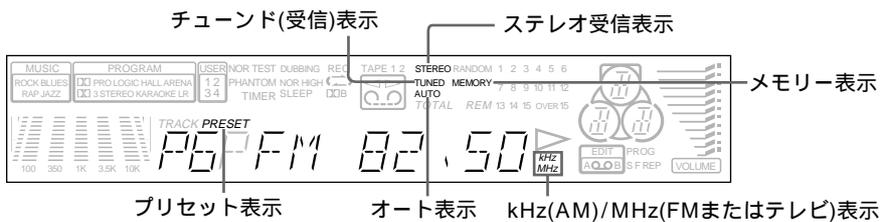
### CDモード



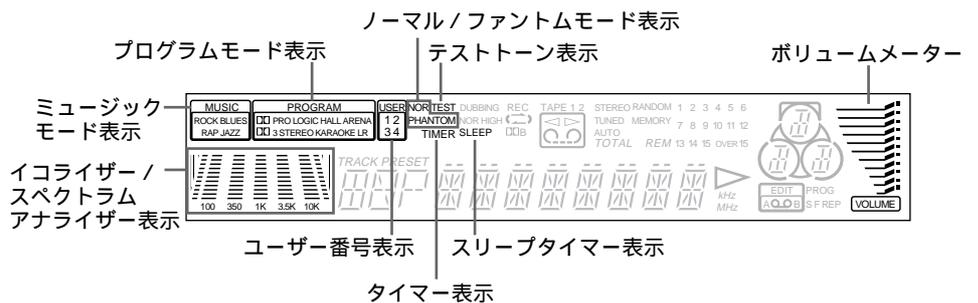
### デッキモード



### チューナーモード

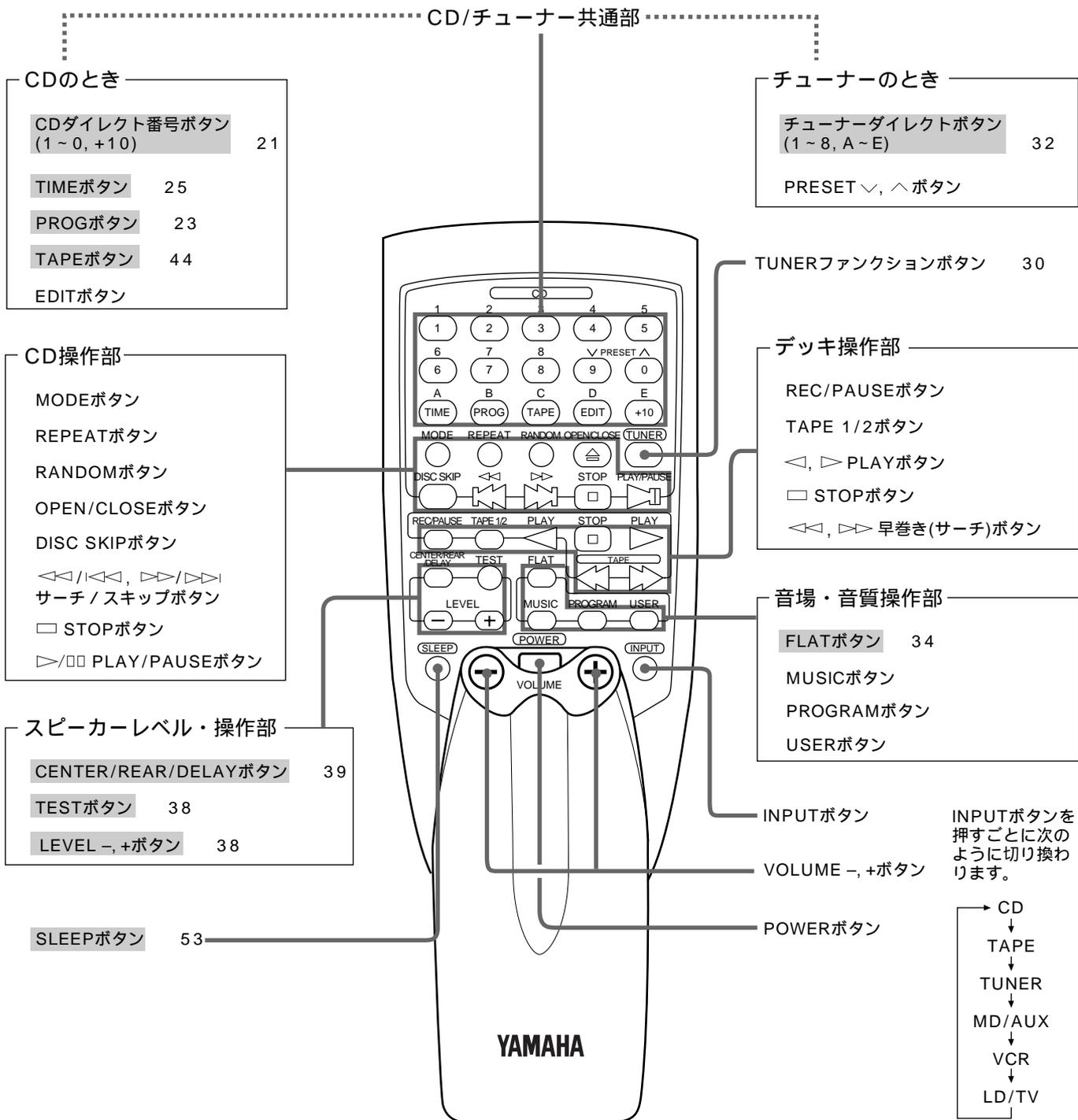


### 音量・音質・音場表示 タイマー表示



# リモコン

番号は本文で説明しているおもなページです。  
 のボタンはリモコンでのみ操作できます。



各部のなまえ

# CDやテープについて

## コンパクトディスク CD (COMPACT DISC) について

### 取り扱いについて

必ず右図のマークが入っているコンパクトディスクをお使いください。

演奏面は、文字のある反対の面です。演奏面に触れないでください。

必ず、ディスクの縁を持ってください。

文字のある面を硬い鉛筆やボールペンなどで文字を書かないでください。

信号をそこないますので、演奏面と同様にキズをつけないよう注意してください。



### お手入れのしかた

指紋やほこりなど汚れがつくと、雑音や音とびの原因になります。汚れがついたときは、柔らかい布で、中央から縁の方向にまっすぐに軽くふきとってください。

矢印と反対の方向にふいたり、普通のレコードのようにまわしながらふかないでください。



次のものは使用しないでください。

- ・ベンジンやアルコールなどの溶剤
- ・研磨材を含むクリーナー
- ・レコード用のスプレーやクリーナー
- ・静電気防止剤

### 保管場所のご注意

ほこりやキズ、変形などを避けるため、必ず専用ケースに入れて保管してください。

次のような所に置かないでください。

直射日光が長時間あたる所（特に密閉した自動車内など）

暖房器具の近く

ほこりや湿気の多い所

### —— “ つゆつき ” 現象について ——

つぎのような場合には、内部のレンズやCDに露（水滴）がつくことがあります。

ストーブをつけた直後。

湯気や湿気が立ちこめている部屋に置いてあるとき。

冷えた場所（部屋）から急に暖かい部屋に移動したとき。

露がついてしまうと

CDの信号が読み取れず、本機が正常な動作をしないことがあります。

露を取るには

CDを取り出して電源を入れておけば、約1時間位で露が取り除かれ、正常な動作をするようになります。

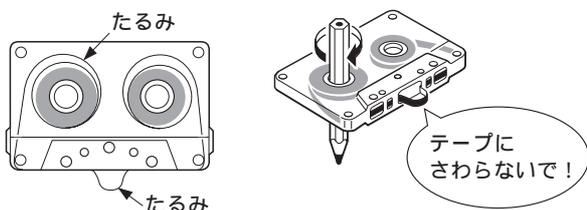
## テープについて

### 取り扱いについて

C-120 テープや一部のリール付デザインのテープは薄く伸びやすいためできるだけ使用しないでください。テープが機械に巻き込まれる場合がありますので注意してください。

テープをお使いになる前に、たるみがないか、シワが入っていないか確かめてください。テープのたるみは鉛筆やボールペンなどで巻き取ってください。

たるみやシワのあるテープを使うと、テープが切れたり、機械に巻きついたりすることがあります。

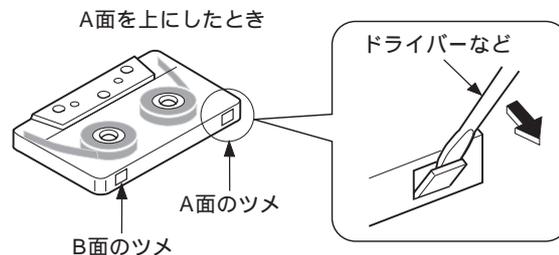


### 避けてほしい保管場所

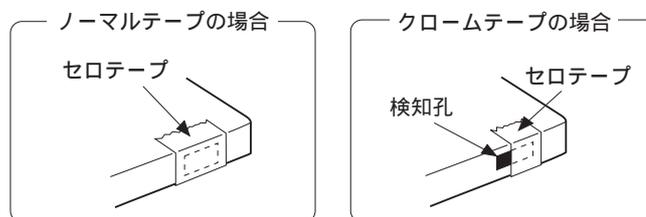
直射日光が長時間あたる所（特に密閉した自動車内など）  
暖房器具の近く  
ほこりや湿気の多い所  
磁気のある所（スピーカーの近くやテレビの上など）

### 大切な録音を誤って消さないために

テープの消去防止用のツメを折って取りのぞいておくと、録音ができなくなり大切な録音をあやまって消すことがあります。



もう一度録音したり、録音を消したいときは、ツメを折った部分を、セロテープなどでふさぎます。



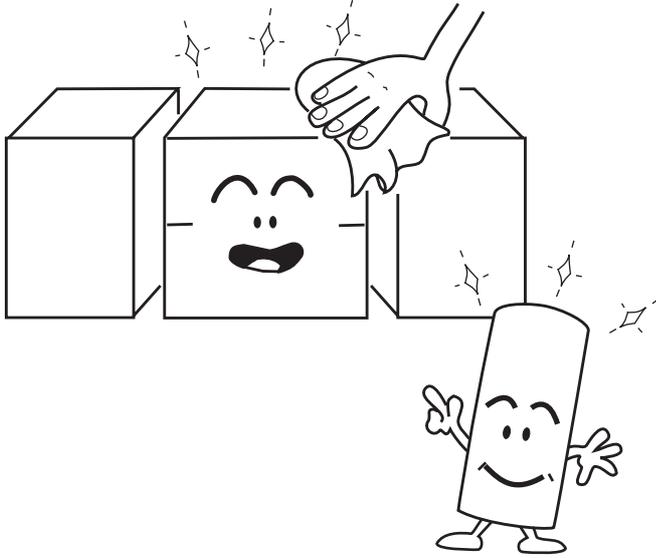
オートテープセレクト機構はテープの検知孔によって判別しますので、クロームテープの穴をふさぐ場合は、ツメがあった部分だけをふさいでください。

# お手入れするには

お手入れの際は、電源コードをコンセントからはずしてください。

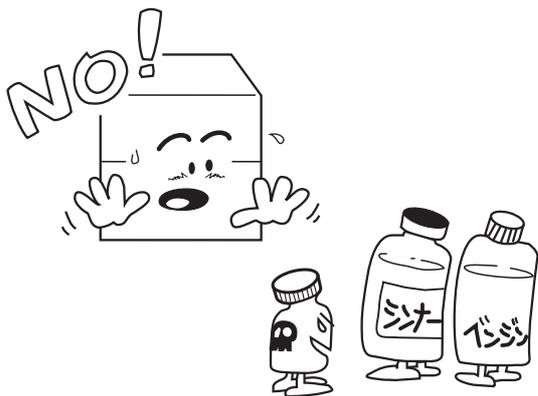
## 本体 / リモコン

ふつうの汚れは、やわらかい布で軽くふきとってください。汚れがひどいときは水でうすめた洗剤を布にふくませ、よくしぼってふき取ってください。そのあと、乾いた布で仕上げてください。



## ご注意

ベンジン、シンナーなどでふいたりすると変質したり、塗料がはげることがありますので使わないでください。



## ヘッド

### <ヘッド部の清掃>

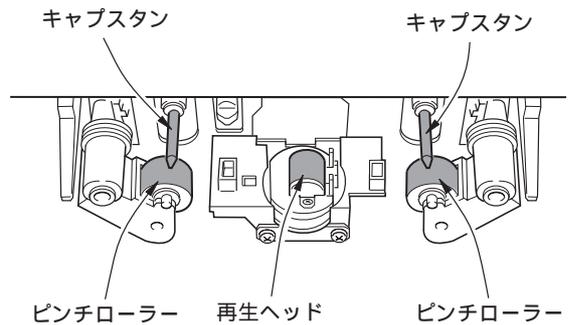
良い音で録音や再生を楽しむために、およそ15時間使用すごとに清掃してください。市販のクリーニング液か、アルコールを含ませた綿棒でテープの触れる面を軽くふきます。

### <ヘッド部の消磁>

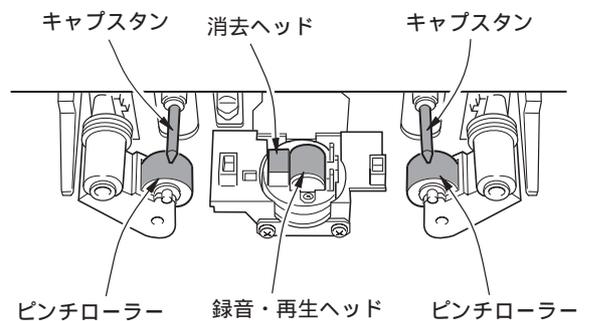
長い間使っていたり、ヘッド部に磁気を帯びたものが触れたりすると、ヘッドが磁化され、そのまま録音や再生をすると、雑音が入ります。このようなときは、市販の消磁器を使って消磁してください。

油をささないでください。故障の原因になります。

デッキ 1



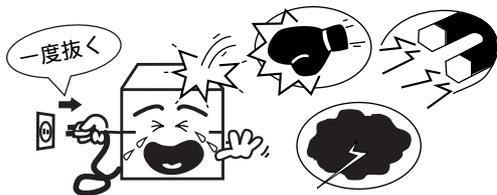
デッキ 2





# 故障かな？と思ったら

次のような場合は故障でないことがありますので、修理やアフターサービスをお申しつけになる前にあらかじめお調べください。



この製品を使用中に、強い外来ノイズ（衝撃、過大な静電気、または落雷による電源電圧の異常など）を受けた場合や誤った操作をした場合などに、操作を受けつけなくなるなどの異常が発生することがあります。

このようなときは、いったん電源差し込みプラグを抜き、約30秒後に再びつないで操作をやり直してみてください。

## こんなとき

## ここをおたしかめください

## 参照ページ

スピーカーから音が出ない。	ヘッドホンが差し込まれていませんか？ ファンクションが正しく合っていますか？ スピーカーコードがスピーカー端子からはずれていませんか？	17 — 5
リアスピーカーから音がでない。	片方のスピーカーだけが接続されていませんか？	8
低音が出ない。 音源の位置が不明りょう。	スピーカーの左右どちらかの極性、( +, - ) が反対になっていませんか？	5
“ブーン”という雑音が入る。	電源コードを伝わってくる電波が電源周波数によって変調を受けることがあります。 電源差し込みプラグの左右を逆に差しかえてみてください。	—
“MN ERR”または“MECHAEER”表示が出る。	内部の故障ですので、電源を切ってサービスを依頼してください。	—
時計の表示が点滅している。	時刻合わせをしましたか？ 停電がありませんでしたか？ 時刻を設定し直してください。	15

## CDを聞くととき

CDを入れても総曲数の表示がつかない。 操作ボタンを押しても動作をしない。 また、曲の途中で止まってしまい正しい演奏をしなくなる。 演奏音がとぎれる。	CDの裏表をまちがえていませんか？ ディスクトレイの中に異物が入っていませんか？ CDに汚れやキズがありませんか？ 規格外のCDを使用していませんか？ 振動の多い不安定な場所においていませんか？ つゆがついていませんか？	18 — 60 — 60
"no disc"が表示される。 ディスクトレイが出てきてしまう。	CDにゴミやキズがついていたり、裏表を逆にに入れていませんか？	18
ボタンを押しているうちに、正常な動作をしなくなった。	演奏位置をさがす動作がボタン操作と対応しなくなることがあります。 一度、電源を切り、再び操作をやり直してください。	—

## テープを聞くとき、または録音するとき

REC/PAUSEボタンを押しても表示ランプがつかない。	カセットテープの消去防止用のツメが取り除かれていませんか？	60
録音および再生のとき音がとぎれる。または高音が出ない。	テープにシワがあったり、伸びたりしていませんか？ ヘッド部が汚れていませんか？	— 61
録音および再生のとき音のふるえが多い。	テープが伸びていませんか？ キャプスタンやピンチローラーが汚れていませんか？	— 60

## ラジオ放送を聞くとき

FM放送に“ザー”という連続音が入る。	アンテナの位置が悪くありませんか？	10
AM放送を聞いているときに、“シー”“ザー”という連続音が入る。	テレビなどからの雑音が入る、または、放送局間の干渉音聞こえることがあります。 テレビを消すか、テレビから離してください。	—

## リモコンを使うとき

正しい動作をしない。	乾電池が消耗していませんか？ 受信部に正しく向けていますか？ 受信部との距離が遠すぎませんか？ または近すぎませんか？ 受信部に強い日光や照明(インバーター蛍光灯など)があたっていませんか？ 他の機器のリモコンを同時に操作していませんか？ 乾電池の⊕ ⊖ が逆になっていませんか？	14
------------	--	----

## タイマーを使うとき

タイマーがスタートしない。	時刻合わせをしましたか？	15
	TIMER が表示されていますか？	50

## 本機をテレビの近くに置いているとき

“キーン”や“ブーン”という雑音が入る。 または、雑音録音される。	使用するテレビによっては、テレビから雑音が入ることがあります。テレビとこの製品の位置を左右入れかえるか、雑音がなくなるまで離してください。 または、テレビを消してください。	—
他のチューナーやテレビに雑音や映像の乱れが生じる。	室内アンテナを使用しているチューナーやテレビを近くに置いていませんか。特に、室内アンテナを使用しているチューナーやテレビに起こりやすいので、屋外アンテナの使用をおすすめします。	—

# 仕様について

## CD部

型式	3CDオートチェンジャー
読み取り方式	非接触光学式読み取り方式 (3ビーム半導体レーザー使用)
D/Aコンバーター	1bit DAC
フィルター	8倍オーバーサンプリング 18bitデジタルフィルター
ワウ・フラッター	測定限界値以下

## チューナー部

FM受信周波数範囲	76.00MHz~108.00MHz
FM実用感度(MONO)	1.5 $\mu$ V(75, 1kHz, 30dB S/N)
AM受信周波数範囲	531kHz~1611kHz
AM実用感度	280 $\mu$ V/m

## デッキ部

型式	オートリバース 4トラック2チャンネル 再生/録再ステレオダブル カセットデッキ
ヘッド	再生 ハードパーマロイ $\times$ 1 録再 ハードパーマロイ $\times$ 1 消去 ダブルギャップフェライト $\times$ 1
モーター	DCサーボモーター $\times$ 2
ワウ・フラッター	$\pm$ 0.19%(W. PEAK) 0.09%(W. RMS)
早巻き時間	約110秒(C-60テープ)
周波数特性(-20dB)	ノーマル 30Hz~15,000Hz $\pm$ 3dB クローム 30Hz~16,000Hz $\pm$ 3dB
SN比(IHF-A)	NR OFF 58dB DOLBY B NR ON 66dB
高調波歪率	0.8%以下(315Hz)
チャンネルセパレーション	40dB以上(1kHz)
クロストーク	55dB以上(125Hz)

## アンプ部

定格出力	FRONT: 75W+75W (1kHz, 10% THD, 6 $\Omega$ ) FRONT: 65W+65W (1kHz, 1% THD, 6 $\Omega$ ) CENTER/REAR: 20W (1kHz, 1% THD, 6 $\Omega$ )
全高調波歪率	FRONT: 0.08% (MD/AUX, 1kHz, 32.5W/6 $\Omega$ )
SN比	75dB (MD/AUX)
ヘッドホン出力インピーダンス	6 $\Omega$
入力感度/インピーダンス	300mV/23k (MD/AUX) 0.5mV/4.7k (MIC)
イコライザーコントロール	中心周波数 100Hz, 350Hz, 1kHz, 3.5kHz, 10kHz, 可変範囲 $\pm$ 10dB

## 映像部

信号レベル	1Vp-p/75
最大入力レベル	1.5Vp-p
SN比	50dB以上
周波数特性	モニター出力: 5Hz~10MHz, -3dB

## スピーカー

### フロントスピーカー(NX-GX70)

型式	アクティブサーボプロセッシング方式
スピーカー	13cm ウーハー 5cm ツイーター/2cm スーパーツイーター
最大許容入力	90W
インピーダンス	6
再生周波数帯域	60Hz~20,000Hz
音圧レベル	87dB(1m $\cdot$ 2.45V)
寸法(幅) $\times$ (高さ) $\times$ (奥行)	200 $\times$ 320 $\times$ 243mm
重量	3.5kg $\times$ 2

### リアスピーカー(NX-E70)

型式	パスレフ
スピーカー	8cm
最大許容入力	13.5W
インピーダンス	4
再生周波数帯域	110Hz~20,000Hz
音圧レベル	85dB(1m $\cdot$ 2V)
寸法(幅) $\times$ (高さ) $\times$ (奥行)	200 $\times$ 115 $\times$ 105mm
重量	0.8kg $\times$ 2

### センタースピーカー(NX-C70)

型式	密閉
スピーカー	9cm
最大許容入力	27W
インピーダンス	8
再生周波数帯域	100Hz~20,000Hz
音圧レベル	85dB(1m $\cdot$ 2.83V)
寸法(幅) $\times$ (高さ) $\times$ (奥行)	280 $\times$ 123 $\times$ 140mm
重量	1.5kg $\times$ 1

## 総合

電源電圧	AC 100V 50/60Hz
消費電力	180W
寸法(幅) $\times$ (高さ) $\times$ (奥行)	280 $\times$ 320 $\times$ 360mm
重量	10.8kg

## 付属品

リモコン送信機 $\times$ 1	単3乾電池 $\times$ 2
AM用ループアンテナ $\times$ 1	リアスピーカー用
FM用アンテナ $\times$ 1	取付け金具 $\times$ 2
スピーカーコード $\times$ 4	ネジ $\times$ 4
	センタースピーカー用ゴム足

仕様、および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

本機は、電気用品取締法に定める技術基準に適合しています。

# ヤマハホットラインサービスネットワーク

ヤマハホットラインサービスネットワークは、本機を末永く、安心してご愛用いただけるためのものです。サービスのご依頼、お問い合わせは、お買い上げ店、またはお近くのサービス拠点にご連絡ください。

## 保証期間

お買い上げ日より1年間です。

## 保証期間中の修理

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

## 保証期間が過ぎているとき

修理によって製品の機能が維持できる場合にはご要望により有料にて修理いたします。

## 修理料金の仕組み

- 技術料 故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費、一般管理費等が含まれています。
- 部品代 修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
- 出張料 製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

## 補修用性能部品の最低保有期間

補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後8年(テープデッキは6年)です。この期間は通商産業省の指導によるものです。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

## 持ち込み修理のお願い

故障の場合、お買い上げ店、または最寄りのヤマハ電気音響製品サービス拠点へお持ちください。

## 製品の状態は詳しく

サービスをご依頼なさるときは製品の状態をできるだけ詳しくお知らせください。また製品の品番、製造番号などもあわせてお知らせください。

品番、製造番号は本機背面パネルに表示してあります。

## 摩耗部品の交換について

本機には使用年月とともに性能が劣化する摩耗部品(下記参照)が使用されています。摩耗部品の劣化の進行度合は使用環境や使用时间等によって大きく異なります。

本機を末永く安定してご愛用いただくためには、定期的に摩耗部品を交換されることをお勧めします。

摩耗部品の交換は必ずお買い上げ店、またはヤマハ電気音響製品サービス拠点へご相談ください。

### 摩耗部品の一例

ボリュームコントロール、スイッチ・リレー類、接続端子、ランプ、ベルト、ピンチローラー、磁気ヘッド、光ヘッド、モーター類など

ヤマハAV製品に対するお問合せ窓口

AVお客様ご相談センター

TEL (03) 5488 - 5500

## ヤマハ電気音響製品サービス拠点

(ヤマハAV製品の故障に関するご相談窓口および修理受付、修理品お持ち込み窓口)

北海道	〒064-0810	札幌市中央区南十条西1-1-50 ヤマハセンター内	TEL (011) 512 - 6108
仙台	〒984-0015	仙台市若林区卸町5-7 仙台卸商共同配送センター3F	TEL (022) 236 - 0249
首都圏	〒211-0025	川崎市中原区木月1184	TEL (044) 434 - 3100
東京 (お持ち込み修理のみ取扱い)	〒108-8568	東京都港区高輪2-17-11	TEL (03) 5488 - 6625
浜松	〒435-0048	浜松市上西町911 ヤマハ(株)宮竹工場内	TEL (053) 465 - 6711
名古屋	〒454-0058	名古屋市中川区玉川町2-1-2 ヤマハ(株)名古屋流通センター3F	TEL (052) 652 - 2230
大阪	〒565-0803	吹田市新芦屋下1-16 ヤマハ(株)千里丘センター内	TEL (06) 877 - 5262
広島	〒731-0113	広島市安佐南区西原6-14-14	TEL (082) 874 - 3787
四国	〒760-0029	高松市丸亀町8-7 ヤマハミュージック神戸高松店内	TEL (0878) 22 - 3045
九州	〒812-8508	福岡市博多区博多駅前2-11-4	TEL (092) 472 - 2134

## 愛情点検



### 永年ご使用の本機の点検を！

#### こんな症状はありませんか？

- 電源コード・プラグが異常に熱い。
- コゲくさい臭いがする。
- 電源コードに深いキズか変形がある。
- 製品に触れるとビリビリと電気を感じる。
- 電源を入れても正常に作動しない。
- その他の異常・故障がある。



#### すぐに使用を中止してください。

事故防止のため電源プラグをコンセントから抜き、必ず販売店に点検をご依頼ください。  
なお、点検・修理に要する費用は販売店にご相談ください。

## ヤマハ株式会社

〒430-8650 浜松市中沢町10-1

AV機器事業部

営業部 TEL (053) 460 - 3451

品質保証室 TEL (053) 460 - 3405

住所および電話番号は変更になることがあります。